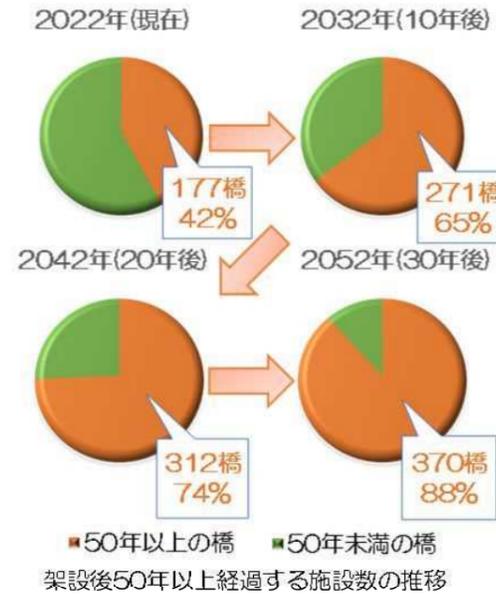
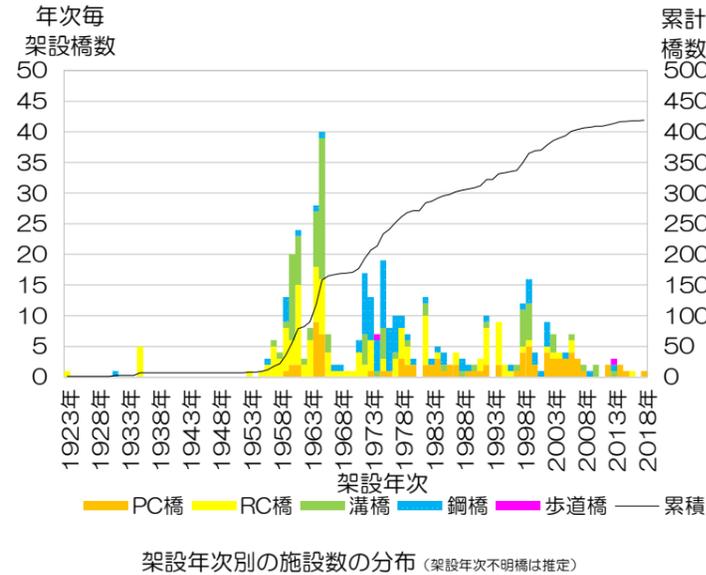


背景・目的

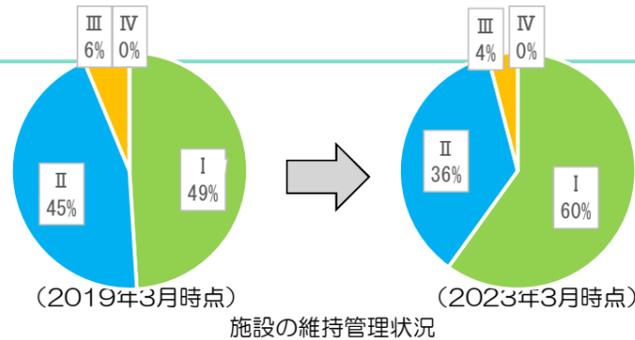
大田原市の管理する施設(橋梁及び横断歩道橋)

大田原市の管理する橋長2m以上の419橋(2023年3月現在)に対して、長寿命化修繕計画の見直しを行い、計画を策定しました。今回対象とする施設に対して、架設年次別の架橋状況を以下のグラフに整理しました。その多くは高度成長期(1960年代)に建設された施設の為、建設後50年以上の高齢化施設は現在では42%あります。今後20年で建設後50年以上になる高齢化施設数は74%と急激に増加するため、管理施設の維持管理費用を抑制していくことが課題となります。



大田原市の維持管理状況

前回の長寿命化修繕計画から計画的に修繕を実施してきたことにより、修繕が必要な施設(健全性Ⅱ及び健全性Ⅲ)の割合は、減少傾向となっています。



長寿命化修繕計画の目的

これまでの対症療法的な対策から、損傷が比較的軽微な段階で予防的な対策の実施へと転換することにより、次の事項の実現を目指します。

● 道路交通の安全性確保(サービス水準の確保、施設の安全性の確保)

定期的に点検を実施し、施設に生じる損傷を早期に発見し、より効果的な対策を実施することにより、道路交通の安全性を確保します。

● 財政支出の縮減・予算の平準化

施設の修繕費用を長期的な視点から縮減し、かつ対策費用が一定時期に集中することを回避します。

長寿命化修繕計画の対象施設

大田原市橋梁長寿命化修繕計画は、大田原市が管理する橋長2m以上の橋梁417橋、横断歩道橋2橋を対象に実施します。

長寿命化修繕計画の基本方針

老朽化対策

● 定期点検等の実施

発生している損傷や変状を早期に発見し、必要な対策を適切に行うため、5年毎の定期点検および道路パトロールを下表のとおり実施します。

点検名称	道路パトロール	定期点検
点検の内容	日常の通行安全性・使用性の確認(パトロール車両による)	橋梁の安全性・使用性・耐久性の確認
点検者	市職員	専門家、市職員

● 予防的な修繕対策の実施

早期措置段階(健全性Ⅲ)の施設の対策を優先的に実施します。その後、予防保全段階(健全性Ⅱ)の施設を優先順位の高い施設から計画的に対策します。

長寿命化や対策費用の縮減(ライフサイクルコスト)を実現するため、次の視点で対策を実施します。

- 損傷が顕著になる前に、小規模な予防的修繕を計画的に実施
- 大田原市の損傷の特徴を踏まえ、対策費用の縮減を図った、より効果的な対策を検討

対策例：桁端部の部分塗装塗替え
伸縮装置からの漏水対策

● 計画的な施設の更新検討

高齢化施設(架設後50年以上経過)のうち、小規模橋梁(概ね橋長5m未満)は、老朽化の状況から予防保全型管理が難しいと判断できる場合に、適宜架け替えを検討していきます。

事業費の縮減

● 定期点検、修繕

点検、修繕等の事業費を縮減するため、全ての施設に対して新技術等の活用や事業効率化等の検討を実施します。令和9年度までに修繕予定の7施設で、鋼桁の塗膜剥離における研削材再利用型プラスト等の技術を活用し、従来技術を活用した場合と比較して136百万円以上のコスト縮減を目指す。

● 集約化、撤去

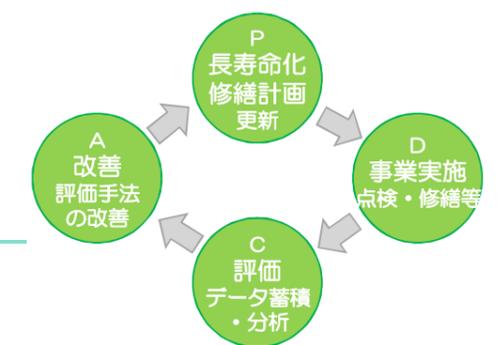
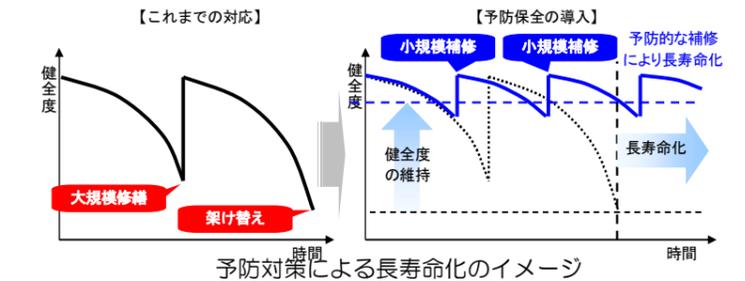
維持管理費用の縮減を目的に、令和9年度までに1橋程度撤去し、維持修繕費の20百万程度縮減を目指す。

メンテナンスサイクルの実践

今後も継続的に効率的・効果的な維持管理を目指すため、修繕工事の事後評価を行い、長寿命化修繕計画の基本方針、策定方法の見直しを実施していきます。

区分	状態
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

【出典:橋梁定期点検要領 H31.3 国土交通省 道路局】



長寿命化修繕計画におけるPDCA

大田原市橋梁長寿命化修繕計画
(横断歩道橋含む)

令和7年 12 月

栃木県大田原市

目 次

	Page
§ 1 長寿命化修繕計画の目的 -----	1
1-1 背景 -----	1
1-2 現状 -----	1
1-3 目的 -----	5
§ 2 長寿命化修繕計画の基本方針 -----	6
2-1 メンテナンスサイクルの確立 -----	6
2-2 前回の長寿命化修繕計画からの変更点 -----	6
2-3 計画全体の基本方針 -----	7
2-4 長寿命化修繕計画の考え方 -----	10
2-5 中長期投資検討及び施設維持管理計画 -----	15
2-6 短期的な数値目標及びコスト縮減効果 -----	17
§ 3 長寿命化修繕計画策定 -----	19
§ 4 長寿命化修繕計画の効果 -----	28
4-1 コスト縮減額 -----	28

以上 28 頁

§ 1 長寿命化修繕計画の目的

1-1 背景

大田原市では 2009 年度に「大田原市橋梁長寿命化修繕計画」を作成し、大田原市が管理する橋長 15m以上の橋梁 123 橋の長寿命化修繕計画を行ってきた。

2012 年 12 月 2 日に起こった笹子トンネル天井板落下事故を機に国土交通省では本格的にメンテナンスサイクルを回すための取組みに着手した。これにより大田原市では 2015 年から管理する橋長 2m以上の橋梁 412 橋について法定点検を実施し、点検結果や橋梁のデータを蓄積してきた。

本計画は、道路橋点検要領の改定、道路メンテナンス事業制度とその改正、2019 年～2021 年度の定期点検、補修工事によるデータの更新に伴い、「橋梁長寿命化修繕計画」（横断歩道橋を含む）の見直しを行うものである。

1-2 現 状

1-2-1 管理施設の特性

1) 架設年次毎の施設数の推移

大田原市の管理する橋長 2m 以上の橋梁と横断歩道橋（以下「施設」という）の合計は 2022 年度時点で 419 橋（うち、横断歩道橋 2 橋を含む）である。

本計画で実施する長寿命化修繕計画の見直しは、「大田原市橋梁長寿命化修繕計画（2019 年 3 月）」で実施された橋長 2m 以上の橋 412 橋に、移管出しや橋長の見直しによる削除 4 橋、移管受けや新設等による追加 11 橋の、差引 7 橋を加えた 419 橋に対して実施した。なお、2019～2021 年度の 3 か年で定期点検を実施した 292 橋および補修工事を実施した 15 橋（2022 年度を含む）については、健全度を更新した。

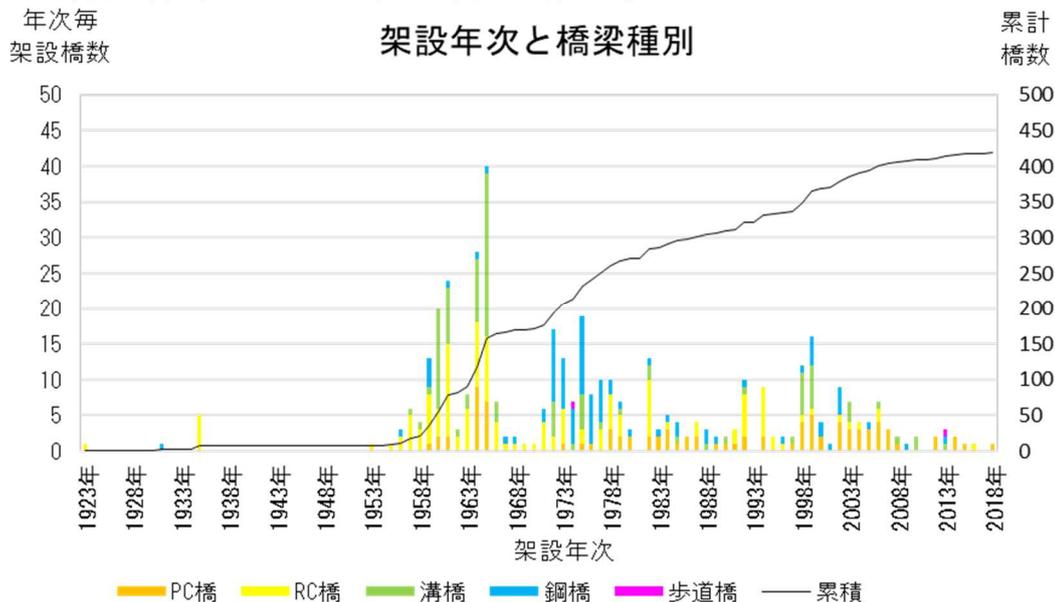


図-1.2.1 架設年次別施設の現状

大田原市の管理する施設の合計は現在 419 橋ある。統計を確認すると、現在の架設後 50 年経過した施設数は 177 橋（42%）となっているが、20 年後には 312 橋（74%）と、急速に高年齢化が進むと予想される。

今後、増大が見込まれる施設の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが必要不可欠となっている。

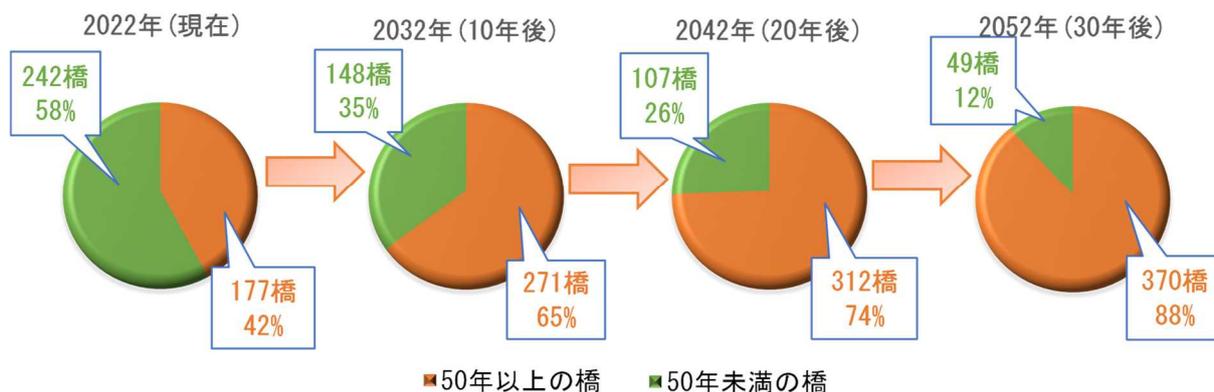


図-1.2.2 架設後50年以上施設の推移

2) 施設種別、橋長の割合

施設種別は「鋼橋」「PC橋」「RC橋」「溝橋（ボックスカルバート）」「横断歩道橋」に大別される。

施設数は、図-1.2.3に示すようにRC橋と溝橋（ボックスカルバート）で6割弱を占めている。また、図-1.2.5より管理施設数の61%が、橋長10m未満である。

施設の延長は、図-1.2.4に示すように鋼橋の割合が56%と多い。

以上のことから、橋長の短いRC橋や溝橋（ボックスカルバート）等の施設、及び延長の長い鋼橋（横断歩道橋を含む）をいかに効率的に管理していくかが課題となる。

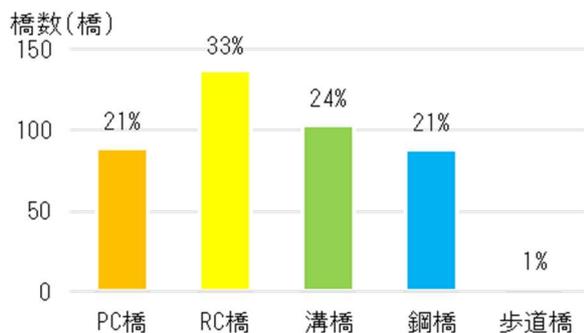
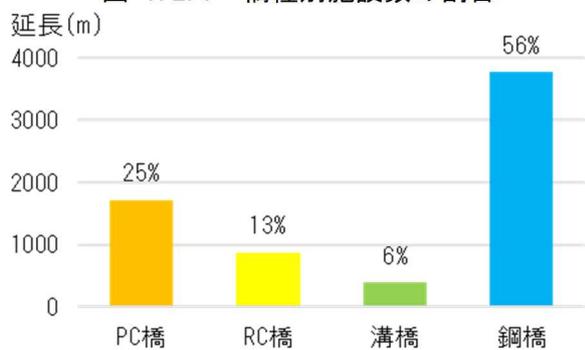


図-1.2.3 橋種別施設数の割合



※鋼橋には、横断歩道橋2橋を含む。

図-1.2.4 橋種別施設延長の割合

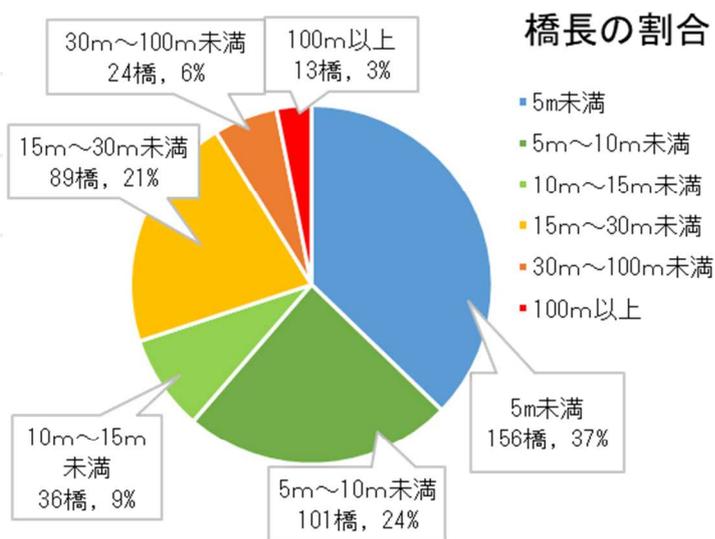


図-1.2.5 橋種別延長の割合

1-2-2 管理施設の健全性

(1) 橋梁

法定点検結果は、図-1.2.5 に示すように措置が必要な橋梁（Ⅱ、Ⅲ）が40%（167橋）を占めている。年度別のⅢ判定橋梁数は、補修の実施により減少傾向にある。



(2019年3月時点、横断歩道橋を除く)

(2023年3月時点、横断歩道橋を除く)

図-1.2.5 橋梁毎の判定区分割合

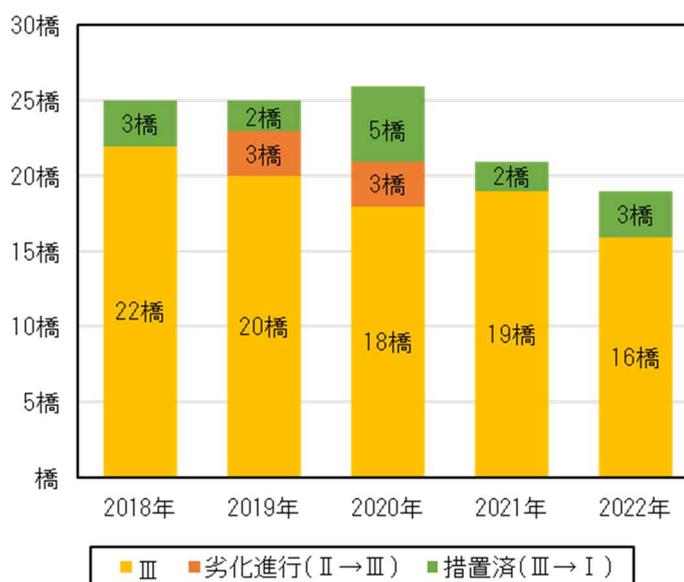


図-1.2.6 年度別Ⅲ判定橋梁の推移

(2) 横断歩道橋

法定点検結果は、図-1.2.7に示すように措置が必要な横断歩道橋（Ⅱ、Ⅲ）が50%（1橋）を占めている。年度別のⅢ判定横断歩道橋数は、補修未実施のためⅢ判定が残っている。

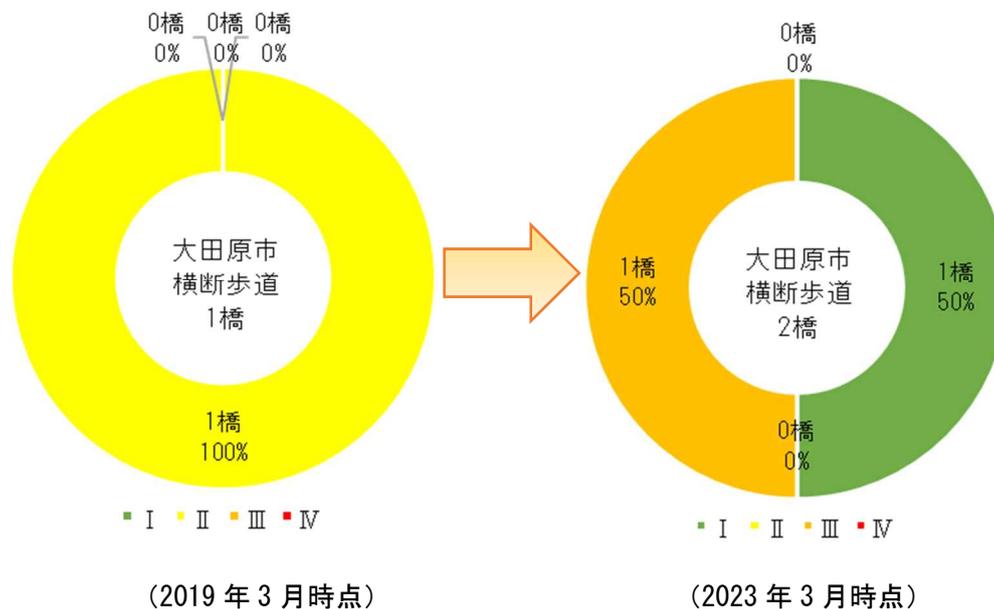


図-1.2.7 施設毎の判定区分割合

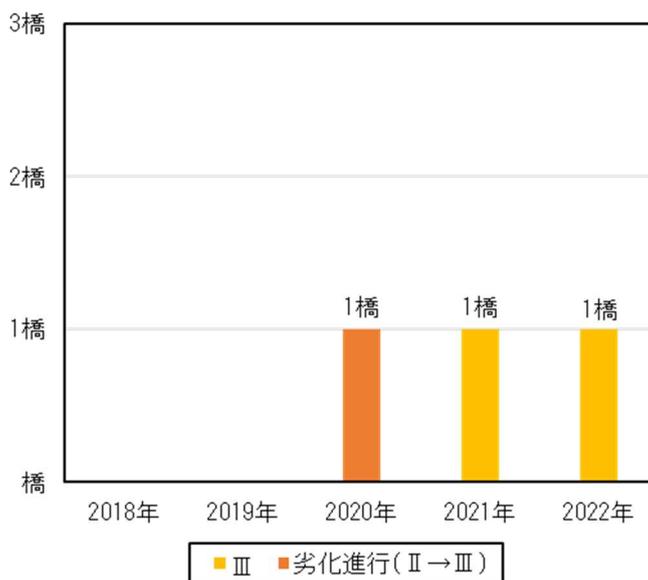


図-1.2.8 年度別Ⅲ判定施設の推移

1-3 目的

現状の課題

① 急速な老朽化

2015年より法定点検を行い、1巡目の点検結果から措置を継続的に実施してきたため、前回の計画策定時と比べて、Ⅲ判定及びⅡ判定の施設数はいずれも減少傾向にあるが、施設の高齢化とともに今後急速な老朽化の進行が懸念されるため、引き続きメンテナンスサイクルを継続することが重要である。

② 補修費の増大

土木工事費は、労務単価や資材単価の上昇の影響で年々増加してきている。近年では、鋼橋の塗替塗装費高騰^{※1}の影響(図-1.3.1)もあり、施設の維持管理にかかる費用はさらに増加傾向にある(橋種別延長の割合では鋼橋が56%を占める)。

^{※1}「鋼道路橋塗装・防食便覧(2005.12)」改定以前に架けられた鋼橋は、塗料に鉛等の有害物質が含有している可能性が高く、塗替塗装工事では作業員等の健康障害防止対策が必要となり、従来の塗替塗装の3~4倍程度の費用が掛かっている(2005年竣工以前の約86橋が対象)。



図-1.3.1

共用年数が50年を超える橋梁の割合

③ 将来への懸念

橋齢50年を超える高齢化施設が急速に増加している(図-1.3.2)。これらの架替え予備軍が、数十年後に架替えが必要となり財政を圧迫する。

以上より、今すぐに予防保全へ移行しなければ必要予算が膨らみ、安全な施設を維持出来ない。

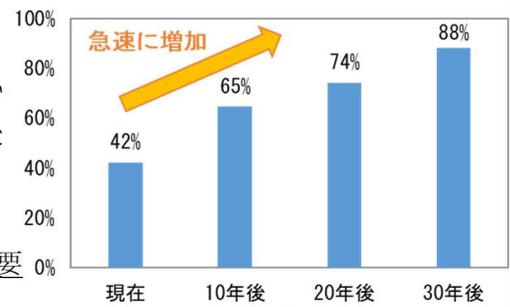


図-1.3.2

計画の目的

大田原市の長寿命化修繕計画における目的は、以下の通りである。

市民の日常を支える交通を守るため、道路ネットワークの要である橋を維持する。

- ✓ 施設長寿命化
損傷の早期発見・早期措置で施設の寿命を延長
- ✓ 予防保全への転換
事後保全型から予防保全型へ移行し、Ⅲ判定にさせない
- ✓ コスト縮減
新技術等の活用で現実的な費用縮減目標を設定
- ✓ 予算平準化
中長期の投資額を検討し健全性を維持できる費用を設定

§ 2 長寿命化修繕計画の基本方針

2-1 メンテナンスサイクルの確立

予防保全型管理を継続するためには、長寿命化計画の作成 (Plan)、点検・措置等の実施 (Do)、評価 (Check)、改善 (Action) によるメンテナンスサイクル (PDCA サイクル) の構築が不可欠となる。

本計画は Plan に位置し、立案した計画を基にして毎年実施する点検結果及び措置結果を反映することで、今後も PCDA サイクルを継続していく。

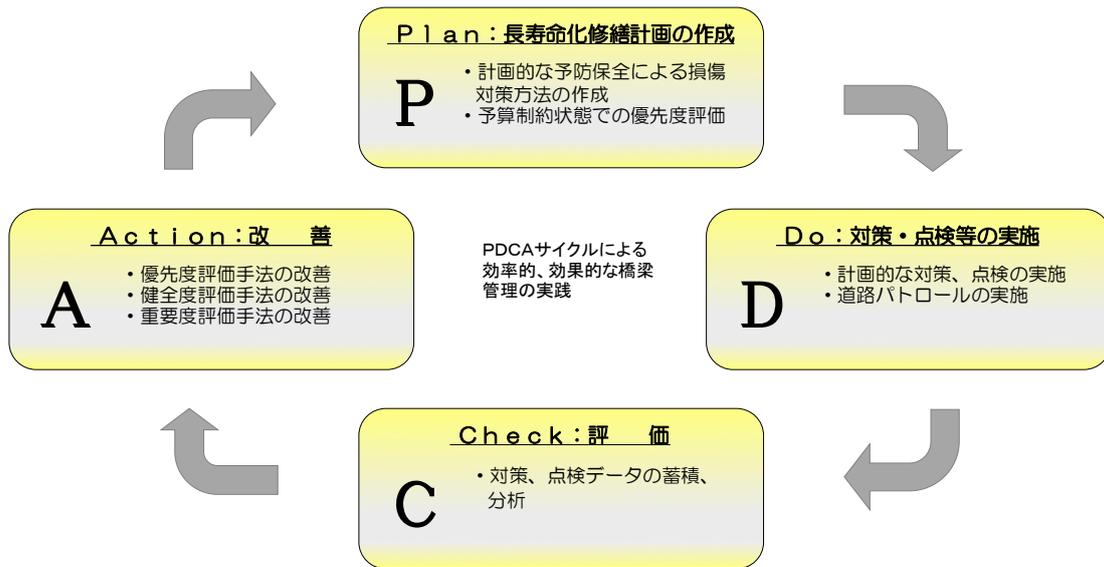


図-2.1.1 PDCA サイクルによる橋梁の維持管理

2-2 前回の長寿命化修繕計画からの変更点

- (1) 法定点検を踏まえた計画
 - ✓ 優先順位の設定方法の見直し
- (2) 計画の精度向上
 - ✓ 補修・架替え費用の見直し (労務単価、資材単価、実績額による見直し)
 - ✓ 中長期投資検討による必要予算額の見直し
- (3) 更なる費用縮減策
 - ✓ 新技術等の活用を検討し、事業の効率化やコスト縮減を図る

2-3 計画全体の基本方針

2-3-1 橋梁

(1) 老朽化対策における基本方針

- ① 点検
 - ✓ 橋梁の法定点検は国の最新基準に則り実施することとし、5年に1回の頻度で行うことを基本とする。
 - ✓ 橋梁を良好に保つため、日常的な維持管理として清掃や土砂詰まりの除去等、比較的対応が容易なものについては日常の維持作業により措置する。
- ② 修繕
 - ✓ 定期点検結果より、変状状況に応じた修繕を実施する。健全性Ⅲの橋梁は、早期（5年程度以内）に補修・補強を実施する。
 - ✓ 現在16橋ある健全性Ⅲの橋梁を優先的に修繕し、その後は予防保全型修繕として健全性Ⅱの修繕を実施する。健全性Ⅱの橋梁は、損傷の大きい橋梁を優先して修繕する。
- ③ 架替え
 - ✓ 架設後50年以上経過している小規模橋梁（概ね橋長5m未満）は、老朽化の状況から予防保全型管理が難しいと判断できる場合に、適宜架替えを検討する。

小規模橋梁は、老朽化の進行状況（広範囲の鉄筋の減肉等）により耐荷力が低下している橋梁が多く、そのような橋梁では予防保全型修繕を実施しても再劣化が生じやすく費用対効果が低い。また、橋長5m未満の橋梁は、管理橋梁の37%（156橋）で、そのうち高度経済成長期以前に架設された高齢化橋梁が大半を占めているため、今後の劣化進行が早いことが予想される。よって、予防保全型管理が難しいこれらの橋梁は、Ⅲ判定となった時点でLCC縮減の観点から架替えの検討を行うことが、維持管理費用の縮減に繋がる。

(2) 新技術等の活用方針

- ✓ 橋梁の法定点検や修繕等の実施に当たっては、全ての施設に対して新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログ（案）などを参考に、新技術等の活用が可能か検討し、事業の効率化やコスト縮減を図る。
- ✓ 特に修繕費用のうち、多くの割合を占める塗替塗装工と伸縮装置取替工は、新技術等を活用することによりコスト縮減や事業効率化を図れるか検討した上で効果が認められる場合は積極的に活用する。

上記に示した新技術等の検討は、「NETIS 登録技術」、「点検支援技術性能カタログに掲載されている技術」に加え、メーカーの新製品等で従来技術と比較してコストの縮減や事業の効率化等が期待される技術等を対象とする。

(3) 費用の縮減に関する具体的な方針

① 点検・修繕

- ✓ 点検、修繕等の事業費を縮減するため、全ての橋梁に対して新技術等の活用や事業効率化等の検討を実施し、コスト縮減対策に活用可能な新技術等は、継続的な調査・監視を行い、さらなるコスト縮減に努める。

具体事例①：有害物質を含有する塗替塗装工の新技術検討（鋼橋）

具体事例②：伸縮装置取替工の新技術検討（橋長 5m 未満の橋梁）

② 集約化・撤去

- ✓ 集約化・撤去は、周辺道路網の整備や土地利用の変化等に伴い、交通量（利用者）が著しく減少している橋梁がある場合等に検討する。

2-3-2 横断歩道橋

(1) 老朽化対策における基本方針

① 点検

- ✓ 横断歩道橋の法定点検は国の最新基準に則り実施することとし、5年に1回の頻度で行うことを基本とする。
- ✓ 横断歩道橋を良好に保つため、日常的な維持管理として清掃や土砂詰まりの除去等、比較的対応が容易なものについては日常の維持作業により措置する。

② 修繕

- ✓ 定期点検結果より、変状状況に応じた修繕を実施する。健全性Ⅲの横断歩道橋は、早期（5年程度以内）に補修・補強を実施する。
- ✓ 現在1橋ある健全性Ⅲの横断歩道橋を優先的に修繕する。その後は、法定点検により健全性Ⅱの横断歩道橋を確認した時点で、橋梁を含めた施設の損傷状況等に応じて優先度の高い順に修繕を実施する。

(2) 新技術等の活用方針

- ✓ 横断歩道橋の法定点検や修繕等の実施に当たっては、全ての施設に対して新技術情報提供システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログ(案)などを参考に、新技術等の活用が可能か検討し、事業の効率化やコスト縮減を図る。
- ✓ 特に修繕費用のうち、多くの割合を占める塗替塗装工は、新技術等を活用することによりコスト縮減や事業効率化を図れるか検討した上で効果が認められる場合は積極的に活用する。

上記に示した新技術等の検討は、「NETIS 登録技術」、「点検支援技術性能カタログに掲載されている技術」に加え、メーカーの新製品等で従来技術と比較してコストの縮減や事業の効率化等が期待される技術等を対象とする。

(3) 費用の縮減に関する具体的な方針

① 点検・修繕

- ✓ 点検、修繕等の事業費を縮減するため、全ての横断歩道橋に対して新技術等の活用や事業効率化等の検討を実施し、コスト縮減対策に活用可能な新技術等は、継続的な調査・監視を行い、さらなるコスト縮減に努める。

具体事例①：有害物質を含有する塗替塗装工の新技術検討（横断歩道橋）

② 集約化・撤去

- ✓ 集約化・撤去は、学校の再編により、統廃合等の理由で学校が廃校となる場合等に検討する。

2-4 長寿命化修繕計画の考え方

2-4-1 対象施設及び計画期間

- ✓ 対象施設は、大田原市が管理する橋長 2m 以上の橋梁 417 橋、及び横断歩道橋 2 橋（2023 年 3 月時点）とする。
- ✓ 計画期間は 2021 年度から 2027 年度までの 7 年間とし、個別施設の点検、措置の実施時期を整理する。

2-4-2 健全度の把握

- ✓ 施設毎の健全度の把握は、定期点検の実施によることを基本とする。
- ✓ 定期点検の頻度は、5 年に 1 回の頻度で大田原市が管理する全ての施設に対して、「道路橋定期点検要領（国土交通省道路局）」に準拠した近接目視点検で行うことを基本とする。

2-4-3 施設の維持管理指標

- ✓ 施設の維持管理指標は、定期点検により確認した施設の損傷状態に基づき設定するものとし、判定区分Ⅰ（健全）、Ⅱ（予防保全段階）、Ⅲ（早期措置段階）、Ⅳ（緊急措置段階）の 4 段階に区分する。

点検結果の分類は、道路法施行規則第 4 条の 5 の 5 第 2 項に定められた表-2.3.1 に示す 4 段階に区分する。

表-2.4.1 維持管理指標

区分		状態
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

2-4-4 対策優先順位の考え方

(1) 対策優先度

- ✓ 限られた予算の中で、健全性の低い施設の中から優先的に補修を実施していく必要がある。そこで、長寿命化修繕計画において補修を行う優先順位を設定する。
- ✓ 修繕計画における補修順序は、健全性の区分Ⅳ→Ⅲ+（損傷重度）→Ⅲ-（損傷軽度）→Ⅱ+（損傷重度）→Ⅱ-（損傷軽度）の順で行う。
- ✓ 各健全性の区分の中での補修順序は、「健全度」及び「重要度」から定める「優先度」により計画的に実施する。

施設毎の損傷状況は、同一の健全性の区分（ⅡまたはⅢ）であっても損傷状況に相違があるため、「損傷重度」と「損傷軽度」に分類して補修の優先順位を設定する。

各健全性の区分の中での補修優先度は、構造物の健全度を指標とすることを基本とするが、利用者の多い施設や重要路線の施設を先に対策することが利用者へのサービス向上やリスク回避につながるため、劣化状況以外に施設自体の重要性を評価し、対策の優先順序に反映する。これにより効果的な維持管理につながる。

よって、路線の特徴や立地条件、利用者・周辺住民に対する影響等を評価した重要度（利用性、耐久性等）を考慮した総合的な評価により行う。

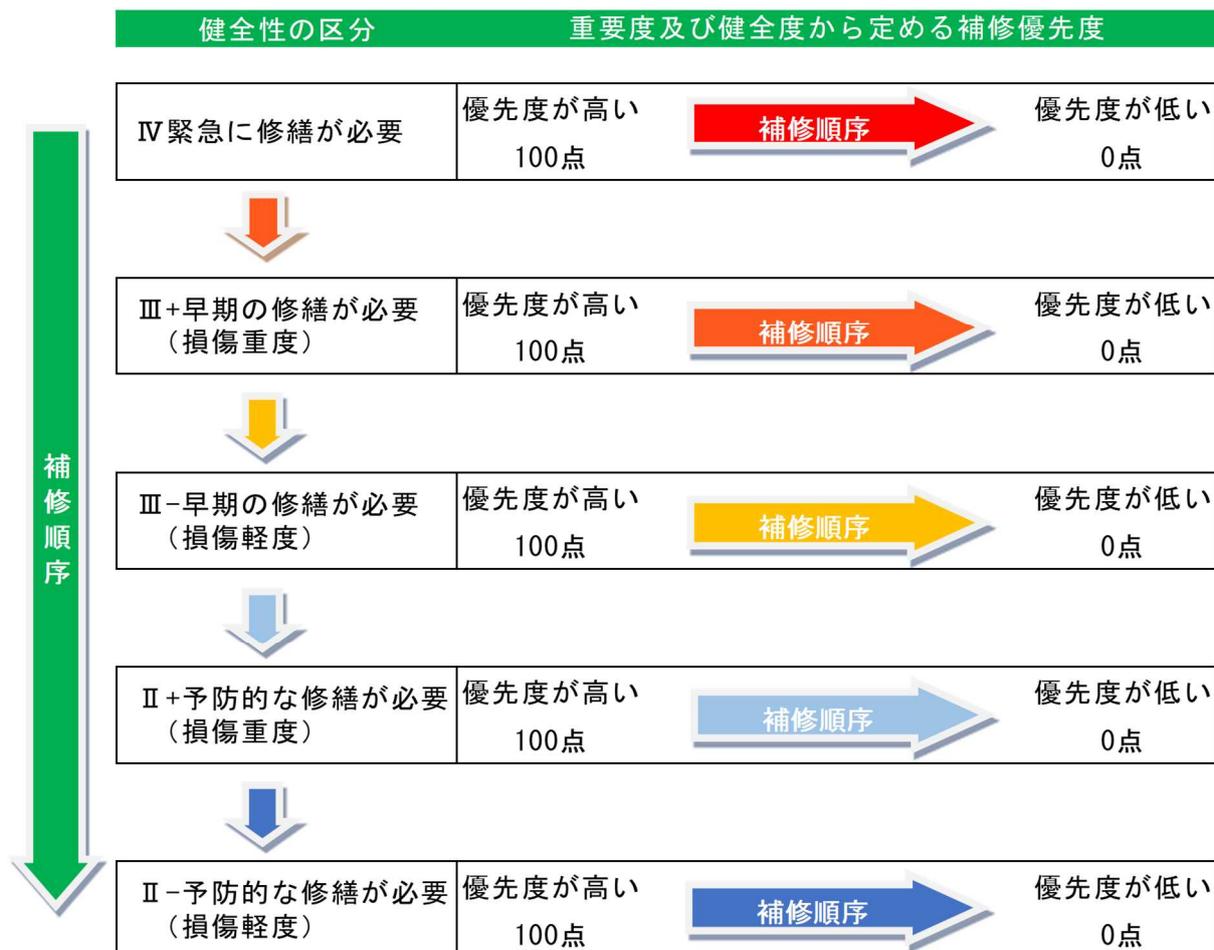


図-2.4.1 補修順序の考え方

(2) 健全度評価手法

✓ 定期点検により確認された損傷に対して、その進み具合を0から100の間で評価した「損傷評価点」を算出する。「健全度」は、損傷評価点を100より減じた値として算出する。下図に損傷評価点および健全度のイメージを示す。

損傷の進み具合					
	良好	ほぼ良好	軽度	顕著	深刻
損傷評価点	0	25	50	75	100
健全度	100	75	50	25	0

図-2.4.2 損傷評価点および健全度のイメージ

(3) 重要度評価手法

重要度は、路線の特徴（重要性）や立地条件、利用者・周辺住民に対する影響、被災時の影響、施設の耐久性を総合的に評価する指標と考える。

表-2.4.2 重要度の評価項目および評点

第1階層		第2階層		第3階層		評価点の設定		
評価項目	補正係数 (W1i)	評価項目	補正係数 (W2i)	評価項目	補正係数 (W3i)	区分	評点	配点
重要性	1.00	平常時の利用性	0.80	路線種別	1.00	1級路線	100	80
						2級路線	50	40
						その他	0	0
		被災時の利用性	0.20	DID区分	0.50	DID地区	100	10
						DID地区以外	0	0
				迂回路	0.50	迂回路無	100	10
						迂回路有	0	0
被害波及性	0.20	交差物	0.70	交差物	1.00	鉄道	100	14
						道路	50	7
						その他	0	0
		添架物	0.30	添架物	1.00	有	100	6
						無	0	0
耐久性	0.20	適用示方書	0.40	適用示方書	1.00	～昭和14道示	100	8
						昭和31年～昭和47年道示	50	4
						昭和55年～	0	0
		構造形式	0.20	構造形式	1.00	ゲルバー桁	100	4
						2径間以上の単純桁	50	2
						その他	0	0
		躯体形式	0.40	躯体形式	1.00	パイバント形式	100	8
						柱式、壁式	50	4
その他	0					0		
効率性	0.10	交差物	1.00	交差物	1.00	鉄道	100	10
						道路	75	8
						河川	50	5
						その他	0	0

2-4-5 維持管理水準の設定

- ✓ 長寿命化修繕計画を立案するにあたり、目標とする管理水準を設定する。

維持管理水準は、H31.2 定期点検要領の「健全性の区分」にて設定する。理想的な目標としては、「健全性Ⅰ：当面の修繕は不要」レベルであるが、現状では健全性Ⅲが増加していること、補修工事予算の関係から、当面の目標として維持管理水準は、「健全性Ⅱ：予防的な修繕が望ましい」とする。

表-2.4.3 健全性の判定区分（目安）

健全性の区分	部材の状態	対策の分類	健全度（目安） （区分判定基準）
Ⅰ	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	当面の修繕は不要 定期点検による経過観察	良好、ほぼ良好 $80 < H I \leq 100$
Ⅱ	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	予防的な 修繕が望ましい	軽度 $60 < H I \leq 80$
Ⅲ	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべき状態。	早期の修繕が必要	顕著 $20 < H I \leq 60$
Ⅳ	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。	緊急に修繕が必要	深刻 $0 \leq H I \leq 20$

維持管理
水準



2-4-6 健全度に応じた概算工事費の設定

- ✓ 概算工事費は、補修費及び架替え費を算出する。
- ✓ 補修費は、健全度に応じた標準的な修繕・補修工事を想定し、想定した工事の概算工事費を算出することにより行う。概算工事費算出は、部材毎の健全度に応じた標準的な補修・補強工法を段階的に設定して算出する。
- ✓ 架替え費は、過去の実績から橋長に応じて単価を設定する。

対策工法は損傷程度により変化する。例えば、損傷が顕著になった段階で修繕を実施する場合は、補強を伴う大規模な修繕が必要となる。しかし、早期に損傷を補修する予防保全の場合、損傷が軽度であるために補修費用は少なくなる。

対策工法は図-2.4.3 に示すように健全度により工法を設定し、補修費用を算出する。将来の健全度は、現在の部材損傷状況から劣化曲線を設定して推定する。

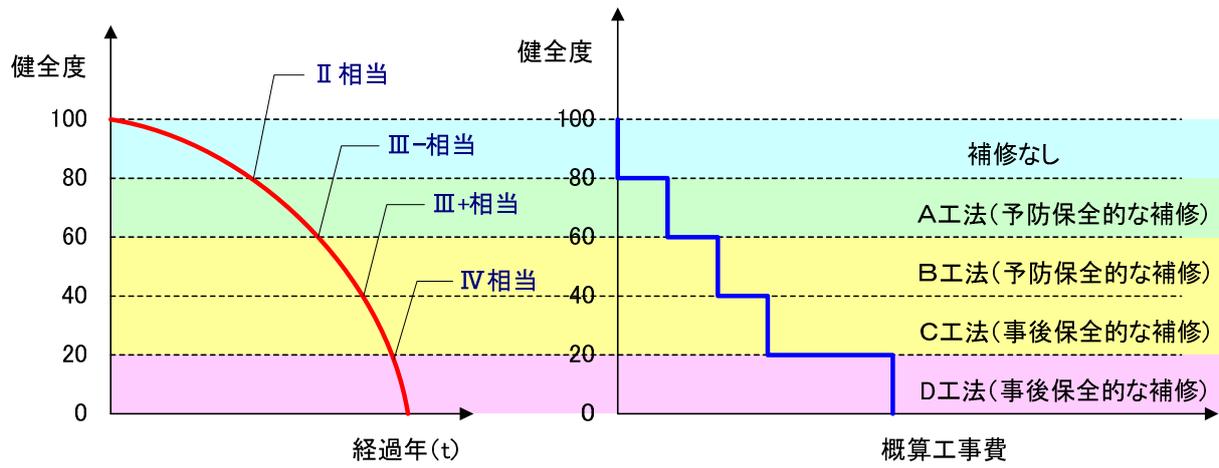


図-2.4.3 健全度と対策工法の概算工事費のイメージ

2-5 中長期投資検討及び施設維持管理計画

- ✓ 施設維持管理計画は、修繕計画および架替え計画より個別の施設ごとに対策内容、対策時期、順位を決定し、今後5年間の計画として取りまとめる。施設維持管理計画では、特定の年度に対策費用が集中しないよう、バランスを取った計画が重要になる。そのため、修繕の優先度を考慮し、対策費用の平準化を図りながら計画していくこととする。
- ✓ 施設維持管理計画に必要な年度予算は、将来状態の劣化予測より今後50年の投資額を検討する「中長期投資検討」によるシミュレーションを行い、最適な投資額を算出する。

(1) 中長期投資検討

中長期投資検討は、設定した劣化予測モデルを基に、各部材ごとに将来の損傷状況の変化を予測して、最適投資額や投資時期を計画する(図-2.5.1)。

年間予算の検討は、従来からの事後保全型修繕から予防保全型修繕への転換を図るため、軽微な損傷のうちに補修を実施することで総補修費を抑える。

また、架設から100年経過、かつ判定区分Ⅲ+の施設は、架替え費を計上する。

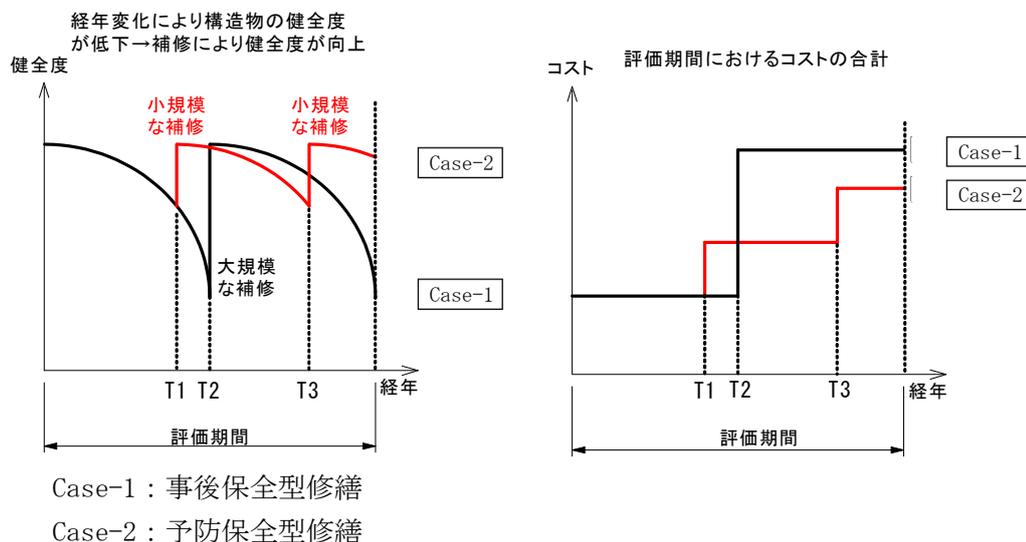


図-2.5.1 補修工事費設定のイメージ

中長期投資計画(今後50年)における投資シミュレーションを実施するにあたり、下記のシナリオについて検討ケースを設定する。

1) 事後保全型

何らかの規制を設ける必要性が顕著化した後、対策を講じた場合、どのような投資方法となるか

2) 予防保全型(予算制約無)

予算額に上限を設けずに予防的な修繕を実施した場合、どのような投資方法となるか

3) 予防保全型(予算平準)

予算の平準化を図りながら予防的な修繕を実施した場合、どのような投資方法となるか

維持管理水準（目標健全度）および投資予算の年次計画を仮定した上で投資シミュレーションを実施する。シミュレーションの結果により目標健全度を満足しているか照査し、満足していない場合は投資予算の見直しを実施する。それでも満足しない場合は管理水準（目標健全度）の見直しを実施する。

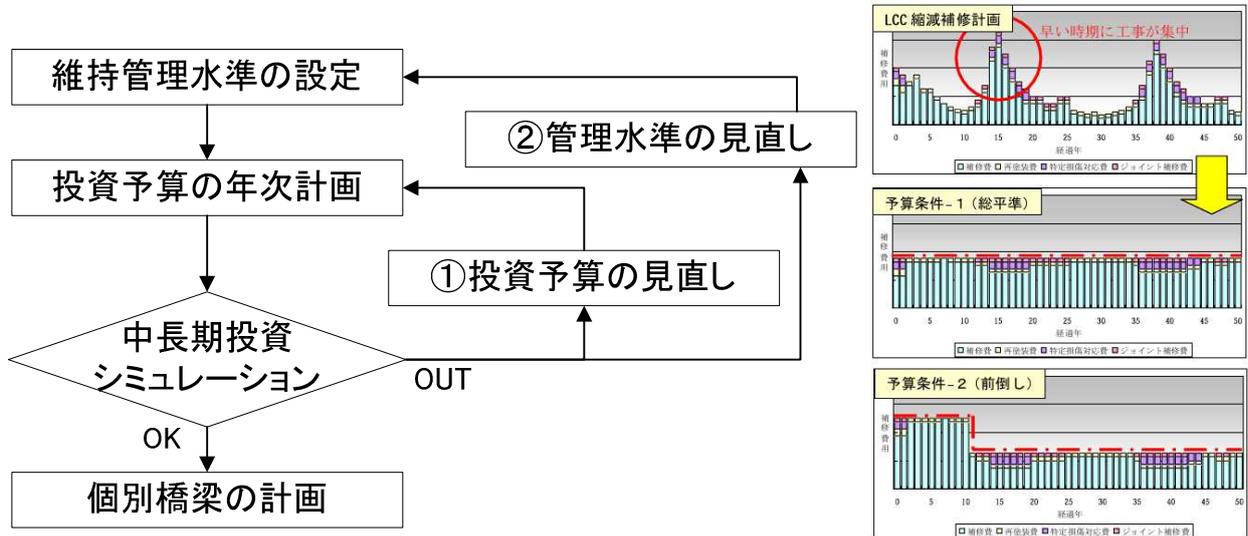


図-2.5.2 投資シミュレーションの流れ及び検討イメージ

2-6 短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果

2-6-1 橋梁

- ✓ 令和9年度までに修繕予定の7施設で、鋼桁の塗膜剥離における研削材再利用型ブラスト等の技術を活用し、従来技術を活用した場合と比較して136百万円以上のコスト縮減を目指す。
- ✓ 令和9年度までに1橋程度撤去し、維持修繕費の20百万程度縮減を目指す。

【コスト縮減額の試算】

補修費のうち、多くの割合を占める塗替塗装工と伸縮装置取替工は、新技術等を活用することによりコスト縮減や事業効率化を図れるか検討した上で効果が認められる場合は積極的に活用する。

具体事例①：有害物質を含有する塗替塗装工の新技術検討（鋼橋）

表-2.6.1 鋼橋再塗装工費比較表

橋梁	従来技術 (百万円)	新技術 (百万円)	縮減効果 (百万円)
塗替え 塗装費用	403.0	268.3	134.8

具体事例②：伸縮装置取替工の新技術検討（橋長5m未満の橋梁）

表-2.6.2 伸縮装置取替工費比較表

橋梁	従来技術 (百万円)	新技術 (百万円)	縮減効果 (百万円)
伸縮装置 補修費用	7.4	5.3	2.1

2-6-2 横断歩道橋

- ✓ 令和9年度までに修繕予定の1施設で、鋼桁の塗膜剥離における研削材再利用型ブラストの技術を活用し、従来技術を活用した場合と比較して8百万円以上のコスト縮減を目指す。
- ✓ 令和9年度までに1橋程度撤去し、維持修繕費の80百万程度縮減を目指す。

【コスト縮減額の試算】

補修費のうち、多くの割合を占める塗替塗装工は、新技術等を活用することによりコスト縮減や事業効率化を図れるか検討した上で効果が認められる場合は積極的に活用する。

具体事例①：有害物質を含有する塗替塗装工の新技術検討（横断歩道橋）

表-2.6.3 鋼橋再塗装工費比較表

横断歩道橋	従来技術 (百万円)	新技術 (百万円)	縮減効果 (百万円)
塗替え 塗装費用	33.1	24.7	8.4

§ 3 長寿命化修繕計画策定

最新の点検結果（2024年12月時点）、修繕工事結果（2024年12月時点）を反映した長寿命化修繕計画を次頁以降に示す。

×改築(集約化・撤去含む) ○修繕 ●定期点検

I 健全 III 早期措置段階

II 予防保全段階 IV 緊急措置段階

作業 番号	施設名	路線名	所在地	架設 年次	橋長 (m)	幅員 (m)	上部工 (使用 材料)	×改築(集約化・撤去含む) ○修繕 ●定期点検									対策 費用 (億円)	点検 年度	設計 年度	橋梁 毎の 判定 区分	講ずる措置の内容	
								2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)								
1163	青木橋	滝岡1号線	親園八木沢3番1地先	1977	23.2	5.0	鋼橋			●	○						●	0.39	2022	2021	III	塗装塗替工等
2098	引橋	北野上5号線	北野上614番2地先	1961	10.0	8.6	鋼橋				○●							0.30	2023	2021	III	塗装塗替工等
2085	市場橋	須賀川19号線	須賀川1305番3地先	1935	8.8	4.6	RC橋							●			0.19	2020	2020	III	断面修復工等	
2142	上河原橋	須賀川34号線	須賀川2993番地1地先	1995	8.9	5.8	RC橋	●			○					●	0.23	2021	2021	III	断面修復工等	
1004	熊川橋	ライズライン金田線	戸野内巻川添3番2地先	1975	29.6	9.0	鋼橋					○●					0.77	2024	2022	III	塗装塗替工等	
1114	寺の下橋	南金丸中坪線	南金丸東原1045番地先	1956	7.8	4.6	RC橋					○●					0.13	2024	2023	III	断面修復工等	
9998	北大通り横断歩道橋	内環状北大通り線	紫塚3丁目	1974	50.9	1.5	歩道橋					○		●			0.27	2020	2022	III	塗装塗替工等	
1138	下坪橋	奥沢3号線	奥沢葎山89番1地先	1974	32.3	4.0	鋼橋					○●					0.39	2024	2022	III	塗装塗替工等	
2041	堂川橋	黒羽向町17号線	黒羽向町341番2地先	1964	5.5	3.8	鋼橋						○●				0.07	2020	2023	III	塗装塗替工等	
1152	宇田川橋	ライズライン宇田川線	宇田川荷渡前513番1地先	1972	174.9	7.0	鋼橋				●			○	○		3.07	2023	2023	III	塗装塗替工等	
1039	無名橋	山の手204号線	山の手二丁目27番27地先	1961	3.0	8.1	RC橋						●			○	0.05	2024		III	ひびわれ補修工等	
1089	無名橋	元町104号線	元町一丁目774番1地先	1992	2.0	8.1	RC橋						●			○	0.06	2024		III	断面修復工等	
2024	無名橋	南金丸松木沢線	松木沢216番地先	1964	4.7	4.5	RC橋							●		○	0.08	2020		III	断面修復工等	
2070	無名橋	須賀川5号線	須賀川3463番1地先	1973	5.4	3.6	RC橋							●		○	0.07	2020		III	断面修復工等	
1047	無名橋	北金丸20号線	北金丸長倉1863番4地先	1975	3.0	6.0	RC橋						●			○	0.07	2024		III	断面修復工等	
1022	町島橋	町島2号線	荒井門前668番地先	1961	2.1	3.7	RC橋						●			○	0.03	2024		III	断面修復工等	
2067	三和橋	雲岩寺1号線	雲岩寺701番4地先	1955	26.2	4.5	RC橋				●					○	0.33	2023		III	塗装塗替工等	
3066	柳橋	湯前坂線	中田原	1965	4.5	8.4	RC橋							●		○	0.14	2020		III	断面修復工等	
1101	五輪橋	奥沢道の駅線	奥沢下坪303番8地先	1975	32.1	6.1	鋼橋						●			○	0.61	2024		III	塗装塗替工等	
2013	満蔵橋	北野上木佐美線	北野上2068番1地先	1999	6.6	6.4	溝橋							●				2020		II	—	
1072	無名橋	西那須野駅東口線	末込三丁目286番2番1地先	1961	6.0	6.9	RC橋							●				2024		II	—	
1006	今泉大橋	ライズライン金田線	今泉中町294番1地先	1973	190.0	7.0	鋼橋				●					●		2022		II	—	
1135	三輪橋	中田原倉骨線	奥沢葎山80番地先	1975	32.1	6.0	鋼橋					●						2023		II	—	
2008	小草橋	中野内南方線	南方92番1地先	1984	9.9	8.0	PC橋							●				2020		II	—	
3002	友橋	蛭田星ノ宮1033番1地先	蛭田星ノ宮1033番1地先	1998	33.8	11.0	PC橋				●							2023		II	—	
3024	3号橋	旧東野鉄道線	湯津上田中1398番1地先	2003	3.9	10.0	溝橋	●								●		2021		II	—	
3027	無名橋	岩舟台新宿線	湯津上大野4136番2地先	1965	3.5	12.3	溝橋	●								●		2021		II	—	
3034	新巻川橋	宇田川佐良土線	蛭田洞端758番2地先	1994	34.1	6.0	PC橋				●							2023		II	—	
1001	河原曾根橋	練貫1号線	練貫河原曾根1029番地先	2003	17.4	5.0	PC橋				●					●		2022		I	—	
1002	鴻泉橋	小滝練貫線	富池境ノ目2630番5地先	2002	17.0	6.0	PC橋	●							●			2021		I	—	
1003	豊国橋	羽田5号線	羽田砂ノ目96番2番7地先	1964	2.2	4.3	RC橋					●						2024		I	—	
1007	小五郎内橋	戸野内4号線	戸野内巻川添124番1地先	1968	28.0	3.7	鋼橋				●					●		2022		II	—	
1008	三ツ谷橋	今泉4号線	今泉川泉向502番1地先	1999	13.1	5.0	PC橋						●					2024		I	—	
1009	舟山橋	ライズライン金田線	富池船山前283番1地先	2014	19.6	11.0	PC橋											2024		I	—	
1010	旭橋	市野沢4号線	市野沢上町711番地先	1989	21.1	6.0	鋼橋				●					●		2022		II	—	
1011	大川橋	小滝6号線	市野沢鶴子内827番1地先	1988	21.1	6.0	鋼橋				●					●		2022		II	—	
1012	登谷橋	戸野内石林線	今泉中町397番1地先	1975	99.9	7.0	PC橋	○			●					●		2022		I	R3年補修工事	
1013	西柳橋	荒井1号線	荒井柳町通453番地先	1966	4.2	4.0	RC橋						●					2024		II	—	
1014	熊川橋	荒井1号線	荒井柳町通461番1地先	2014	28.9	7.0	PC橋				●					●		2022		I	—	
1015	町島橋	町島上深田線	町島中河原254番2地先	1986	123.5	9.8	PC橋				●					●		2022		II	—	
1016	町島大橋	内環状北大通り線	町島水口前60番2地先	2000	136.8	14.0	PC橋				●					●		2022		II	—	
1017	無名橋	内環状北大通り線	中田原赤瀬336番1地先	1999	2.0	18.0	溝橋						●					2024		I	—	
1018	無名橋	内環状北大通り線	中田原荒屋敷前566番1地先	1999	2.0	18.0	溝橋						●					2024		I	—	
1020	上深田橋	町島上深田線	町島東原510番2地先	2007	19.0	6.5	PC橋				●					●		2022		I	—	
1021	一里塚橋	中田原6号線	中田原上深田西2094番1地先	2007	21.2	6.5	PC橋				●					●		2022		I	—	
1023	鏡沢橋	中田原乙連沢線	小滝上ノ山8番4地先	1985	2.4	6.0	溝橋						●					2024		I	—	
1024	愛宕橋	中田原大輪線	北金丸西木立691番地先	1984	27.6	6.5	鋼橋				●					●		2022		II	—	
1025	無名橋	中田原大輪線	北金丸西木立714番2地先	1984	5.4	6.5	RC橋						●					2024		I	—	
1026	下桜井橋	中田原乙連沢線	小滝田中1223番地先	1985	24.0	6.0	鋼橋				●					●		2022		II	—	
1027	無名橋	ぼっぼ通り線	紫塚一丁目2699番7地先	1961	4.0	6.9	溝橋						●					2024		I	—	
1028	無名橋	紫塚103号線	紫塚一丁目2699番7地先	1961	5.0	6.0	RC橋						●					2024		II	—	
1029	無名橋	紫塚101号線	紫塚一丁目272番1地先	1961	2.3	6.8	溝橋						●					2024		I	—	
1030	無名橋	市役所前線	本町1丁目2754番2地先	1961	5.0	15.5	RC橋				●					●		2024		II	—	
1031	無名橋	本町101号線	本町1丁目2771番5地先	1961	7.6	6.1	RC橋						●					2024		I	—	
1032	無名橋	中央石林線	住吉二丁目2739番7地先	1961	2.0	10.2	溝橋						●					2024		I	—	
1034	和久橋	紫塚402号線	紫塚四丁目3944番1地先	1999	24.8	4.0	PC橋				●					●		2022		II	—	
1035	寺町下水路第八号橋	山の手201号線	山の手二丁目2451番6地先	1965	2.5	3.6	RC橋						●					2024		I	—	
1036	無名橋	山の手線	山の手二丁目2417番2地先	1961	2.5	8.6	RC橋						●					2024		I	—	

作業 用番 号	施設名	路線名	所在地	架設 年次	橋長 (m)	幅員 (m)	上部工 (使用 材料)	×改築 (集約化・撤去含む) ○修繕 ●定期点検									対策 費用 (億円)	点検 年度	設計 年度	橋梁 毎の 判定 区分	講ずる措置の内容
								2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)							
								改築	修繕	点検	改築	修繕	点検	改築	修繕	点検					
1037	寺町下水路第六号橋	山の手201号線	山の手二丁目2 4 1 8番2 5地先	1964	2.1	10.1	RC橋						●					2024	I	—	
1038	寺町下水路第五号橋	山の手105号線	山の手二丁目2 0 9 0番5地先	1962	2.1	6.4	RC橋						●					2024	I	—	
1040	龍北跨道橋	紫塚401号線	紫塚四丁目3 9 4 1番1 9地先	1999	33.5	6.5	PC橋			●								2022	II	—	
1041	無名橋	中田原大輪線	中田原明神東1 4 1 3番1地先	2006	3.8	6.0	RC橋						●					2024	I	—	
1042	下深田橋	中田原大輪線	中田原苅田1 7 0 7番2地先	2006	19.9	6.7	PC橋			●								2022	I	—	
1043	稲荷橋	中田原大輪線	中田原小駒崎下7 0 9番地先	1969	4.4	4.2	RC橋						●					2024	I	—	
1044	中橋	中田原12号線	中田原荒屋敷後6 5 9番7地先	1953	2.9	2.7	RC橋						●					2024	I	—	
1045	艾田橋	旧東野鉄道線	中田原福原道東1 5 9 5番7地先	2005	20.7	7.7	PC橋			●								2022	I	—	
1046	新田橋	中田原11号線	上奥沢西ノ原4 1 7番6 6地先	2004	19.6	6.0	PC橋											2022	I	—	
1048	新不動橋	北金丸24号線	北金丸真菰沢5 6 0番6地先	1983	27.2	4.5	鋼橋			●								2022	II	—	
1049	長真橋	北金丸25号線	北金丸真菰沢9 3 6番地先	1975	27.0	5.0	鋼橋				●							2023	II	—	
1050	北野内橋	北金丸14号線	北金丸北の内3 3 4番1地先	1974	20.6	4.0	鋼橋				●							2023	II	—	
1051	栢の川橋	北金丸14号線	北金丸古町9 7 5番1地先	1975	27.1	5.0	鋼橋				●							2023	I	—	
1052	無名橋	北金丸14号線	北金丸荒田2 0 2 9番地先	1975	3.1	7.3	溝橋						●					2024	I	—	
1053	不動堂橋	北金丸13号線	北金丸湯坂2 4 5番1地先	1972	20.6	4.5	鋼橋						●					2023	II	—	
1054	古町橋	北金丸12号線	北金丸古町1 6 6 4番地先	1973	27.0	4.5	鋼橋				●							2023	I	—	
1055	清水橋	北金丸12号線	北金丸古町1 7 1 5番2地先	1958	5.1	4.2	RC橋						●					2024	I	—	
1056	湯坂橋	北金丸蜂巣線	北金丸湯坂2 6 2番地先	1972	20.6	5.0	鋼橋					●						2023	I	—	
1057	無名橋	北金丸11号線	北金丸古町1 7 4 0番3地先	1958	5.0	2.6	RC橋						●					2024	I	—	
1058	下の川橋	北金丸蜂巣線	北金丸古町1 6 0 1番2地先	1973	27.0	5.0	鋼橋					●						2023	II	—	
1059	無名橋	北金丸蜂巣線	北金丸古町1 6 1 6番地先	1973	5.3	5.8	PC橋						●					2024	I	—	
1060	金丸陸橋	北金丸蜂巣線	北金丸古町1 8 2 8番6地先	1976	10.4	6.8	鋼橋						●					2024	II	塗装塗替工 等	
1061	新川橋	北金丸26号線	北金丸湯坂1 4 7番2地先	1972	20.7	4.5	鋼橋					●						2023	I	—	
1062	1 9 7号橋	小滝北金丸線	北金丸竹の花9 7番地先	1973	27.1	4.0	鋼橋					●						2023	II	—	
1063	無名橋	上石上17号線	上石上中川原4 7 5番地先	1960	3.5	4.3	溝橋						●					2024	I	—	
1064	無名橋	野崎工業団地中妻線	上石上長田9 1 8番1地先	1960	3.5	6.3	溝橋						●					2024	II	—	
1065	無名橋	上石上19号線	上石上下川原7 9 8番1地先	1960	3.5	4.4	溝橋						●					2024	I	—	
1066	無名橋	上石上16号線	上石上長田9 7 3番1地先	1960	3.5	4.3	溝橋						●					2024	I	—	
1067	無名橋	上石上16号線	上石上下川原8 1 4番地先	1960	3.2	4.0	溝橋						●					2024	I	—	
1068	無名橋	美原富士山線	美原町二丁目3 2 0 2番4地先	2006	7.0	4.6	溝橋						●					2024	I	—	
1069	愛宕橋	美原205号線	美原町二丁目3 2 1 0番1地先	2006	19.5	6.0	PC橋			●								2023	I	—	
1070	鉄砲町橋	美原202号線	美原町二丁目3 3 0 5番1地先	2006	14.6	6.0	PC橋						●					2024	I	—	
1071	加治屋北橋	加治屋二つ室線	加治屋8 3番2 4地先	1961	2.1	6.4	RC橋						●					2024	I	—	
1073	無名橋	市役所通り線	中央二丁目2 9 4 7番6地先	1961	11.5	14.6	PC橋						●					2024	I	—	
1074	無名橋	中央103号線	中央二丁目2 9 1 7番2地先	1961	4.2	3.7	RC橋						●					2024	II	—	
1075	寺町下水路第二号橋	城山101号線	城山二丁目3 1番2 7地先	1961	3.5	6.0	RC橋						●					2024	II	—	
1076	輪之内橋	内環状南大通り線	若草一丁目7 1 6番6地先	1983	11.0	23.3	PC橋						●					2024	I	—	
1077	無名橋	新富町317号線	新富町三丁目1 7 9 8番1地先	1992	2.1	6.4	RC橋						●					2024	I	—	
1078	無名橋	美原101号線	美原一丁目3 1 1 6番4 7地先	1961	4.6	4.2	溝橋						●					2024	II	—	
1079	美原橋	大田原野崎線	美原一丁目3 4 6 8番2 2地先	2006	16.7	24.0	PC橋			●								2023	I	—	
1080	無名橋	新富町若松町線	新富町二丁目2 7 8番9地先	1992	7.0	4.5	RC橋						●					2024	I	—	
1081	無名橋	新富町317号線	新富町二丁目2 8 4番1地先	1992	7.1	5.0	RC橋						●					2024	I	—	
1082	無名橋	若松町3号線	若松町5 4 4番3地先	1992	7.6	4.5	RC橋						●					2024	I	—	
1083	無名橋	若松町2号線	若松町6 4 5番地先	1992	7.9	4.5	RC橋						●					2024	I	—	
1084	不退橋	新富町310号線	新富町三丁目3 1 5番2 0地先	1992	8.3	6.0	PC橋						●					2024	I	—	
1085	末廣橋	大田原野崎線	末広三丁目2 8 7 8番1 0地先	1961	10.7	24.0	PC橋						●					2024	I	—	
1086	寺町下水路第一号橋	城山元町線	城山二丁目5 5番3地先	1961	6.2	16.0	溝橋						●					2024	II	—	
1087	無名橋	城山210号線	城山二丁目9 0番3地先	1999	2.0	6.9	溝橋						●					2024	I	—	
1088	無名橋	城山元町線	元町二丁目9 2 8番1地先	1962	2.5	16.0	溝橋						●					2024	I	—	
1091	無名橋	元町202号線	元町二丁目1 0 9 0番地先	1958	2.3	3.7	溝橋						●					2024	I	—	
1092	無名橋	若草102号線	若草一丁目1 2 4 7番6地先	1972	5.0	7.7	溝橋						●					2024	I	—	
1093	善勝橋	若草206号線	若草二丁目1 1 6 9番地先	1972	6.4	5.5	RC橋						●					2024	I	—	
1094	真子橋	若草206号線	若草二丁目1 1 2 9番5地先	2000	74.5	3.2	鋼橋				●							2023	II	—	
1095	旭橋	若草201号線	若草二丁目8 6 4番1地先	1958	2.9	4.2	RC橋						●					2024	I	—	
1096	清水橋	城山210号線	中田原荒屋敷前6 1 7番1 1地先	1999	68.4	4.0	鋼橋					●						2023	I	—	
1097	無名橋	城山210号線	中田原荒屋敷前6 0 9番地先	1999	2.7	4.7	溝橋						●					2024	I	—	
1098	卷川大橋	中田原倉骨線	上奥沢卷川下2 4 2番5地先	1996	34.1	10.0	鋼橋						●					2023	II	—	
1099	田中橋	上奥沢11号線	上奥沢川上3 2 8番1地先	1976	28.4	4.0	鋼橋						●					2023	II	—	

作業 用番 号	施設名	路線名	所在地	架設 年次	橋長 (m)	幅員 (m)	上部工 (使用 材料)	×改築 (集約化・撤去含む) ○修繕 ●定期点検									対策 費用 (億円)	点検 年度	設計 年度	橋梁 毎の 判定 区分	講ずる措置の内容
								2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)							
								改築	修繕	点検	改築	修繕	点検	改築	修繕	点検					
1100	巻川2号橋	南金丸1号線	奥沢新屋敷248番2地先	1975	28.5	6.0	鋼橋					●						2023	II	—	
1102	堰場橋	上奥沢8号線	上奥沢巻川上143番2地先	2002	21.4	4.5	PC橋						●					2024	I	—	
1103	末長栄橋	上奥沢9号線	上奥沢巻川上268番1地先	2002	21.8	4.5	PC橋					●						2023	I	—	
1104	無名橋	旧東野鉄道線	北金丸北金丸1399番3地先	2008	3.3	9.8	溝橋						●					2024	I	—	
1105	無名橋	南金丸11号線	南金丸馬場692番地先	1974	2.4	4.0	溝橋						●					2024	I	—	
1106	馬場下橋	南金丸11号線	南金丸根小屋780番1地先	1974	27.1	5.0	鋼橋					●						2023	II	—	
1107	根古屋橋	南金丸12号線	南金丸根小屋806番3地先	1974	27.0	4.0	鋼橋					●						2023	I	—	
1108	秀衡橋	南金丸松木沢線	南金丸壺町田585番1地先	2005	29.0	10.0	鋼橋					●						2023	I	—	
1109	馬場先橋	南金丸10号線	南金丸西原1506番2地先	1957	5.5	4.5	RC橋						●					2024	II	—	
1110	水車橋	南金丸10号線	南金丸西原1382番1地先	1971	3.1	5.2	RC橋						●					2024	I	—	
1111	西坪橋	南金丸15号線	南金丸西原1299番1地先	1957	2.0	3.6	RC橋						●					2024	II	断面修復工 等	
1112	無名橋	南金丸14号線	南金丸西原1339番1地先	1957	7.0	4.8	RC橋						●					2024	II	—	
1113	笹鳴橋	南金丸中坪線	南金丸西原1297番1地先	1957	3.5	7.1	溝橋						●					2024	II	—	
1115	金井橋	南金丸中坪線	南金丸壺町田191番2地先	1971	23.1	5.0	鋼橋					●						2023	I	—	
1116	田中橋	南金丸18号線	南金丸下田中253番1地先	1971	22.5	5.0	鋼橋					●						2023	II	—	
1117	境橋	旧東野鉄道線	南金丸上田中423番地先	1972	39.9	6.0	鋼橋					●						2023	I	—	
1118	金堀橋	南金丸17号線	南金丸上田中414番地先	1978	15.0	4.5	RC橋					●						2023	I	—	
1119	無名橋	南金丸18号線	南金丸上ノ原205番地先	1971	5.0	4.3	RC橋						●					2024	I	—	
1120	無名橋	南金丸18号線	南金丸上ノ原207番1地先	1971	4.5	4.4	RC橋						●					2024	I	—	
1121	涛々橋	南金丸22号線	南金丸上ノ原40番地先	1961	4.7	3.8	溝橋						●					2024	I	—	
1122	上の原中橋	南金丸22号線	南金丸上ノ原61番地先	1961	2.3	7.7	溝橋						●					2024	I	—	
1123	無名橋	南金丸20号線	南金丸前原1237番地先	1957	3.0	4.0	RC橋						●					2024	I	—	
1124	無名橋	下石上54号線	下石上下石上219番地先	1960	3.5	4.3	溝橋						●					2024	I	—	
1125	無名橋	下石上54号線	下石上下石上272番地先	1960	3.5	4.3	溝橋						●					2024	I	—	
1126	無名橋	石上線	下石上下石上296番地先	1960	3.5	5.3	溝橋						●					2024	I	—	
1127	無名橋	下石上公園線	下石上下石上564番地先	1960	3.5	4.3	溝橋						●					2024	I	—	
1128	無名橋	下石上49号線	下石上下石上627番地先	1960	3.5	6.3	溝橋						●					2024	II	—	
1129	無名橋	下石上49号線	下石上下石上655番地先	1960	3.5	4.3	溝橋						●					2024	I	—	
1130	無名橋	下石上48号線	下石上下石上880番地先	1960	4.8	4.3	溝橋						●					2024	I	—	
1131	無名橋	末広一区町線	加治屋94番192地先	2003	2.8	8.9	溝橋						●					2024	I	—	
1132	無名橋	若草114号線	若草一丁目1285番4地先	1972	2.5	4.2	溝橋						●					2024	I	—	
1133	無名橋	若草116号線	若草一丁目1279番1地先	1972	2.5	11.0	溝橋						●					2024	I	—	
1134	かわげ橋	七軒町川下線	若草一丁目1495番地先	1972	5.6	7.8	RC橋						●					2024	I	—	
1136	無名橋	ライスライン宇田川線	鹿畑一本松899番4地先	1966	5.7	9.0	溝橋						●					2024	I	—	
1137	無名橋	稲荷原倉骨線	鹿畑一本松63番1地先	1966	4.7	7.3	溝橋						●					2024	I	—	
1139	無名橋	平沢一区町線	実取茨沢798番1地先	1965	4.0	6.0	溝橋						●					2024	I	—	
1140	無名橋	ライスライン親園線	実取堀下701番23地先	1965	5.7	9.1	RC橋						●					2024	I	—	
1141	荻の目橋	荻野目親園線	浅香五丁目3811番1地先	1976	23.2	4.9	鋼橋			○●							●	2022	I	R4年補修工事	
1142	花園暗渠	荻野目花園線	花園下原1番245地先	1961	3.3	4.8	RC橋						●					2024	II	—	
1143	矢島橋	親園3号線	親園中丸372番地先	1976	24.6	5.0	鋼橋			○●							●	2022	I	R4年補修工事	
1144	無名橋	親園3号線	親園街道東643番地先	1965	9.4	5.0	PC橋						●					2024	I	—	
1145	無名橋	親園4号線	親園街道東660番2地先	1965	9.4	4.0	PC橋						●					2024	I	—	
1146	稲荷橋	宇田川9号線	宇田川川毛990番1地先	1984	92.4	4.5	PC橋					●						2023	II	—	
1147	無名橋	大田原グリーンパーク線	宇田川中坪前1613番1地先	1984	10.6	6.0	PC橋						●					2024	I	—	
1148	無名橋	ライスライン宇田川線	鹿畑一本松18番6地先	1966	3.0	9.7	溝橋						●					2024	I	—	
1149	鐘上橋	鹿畑2号線	鹿畑一本松32番1地先	1966	3.4	4.1	RC橋						●					2024	II	—	
1150	下西坪橋	倉骨1号線	倉骨下ノ沢630番1地先	1974	32.1	4.0	鋼橋						●					2024	II	—	
1151	無名橋	北大和久6号線	宇田川阿久戸1047番地先	1972	2.0	6.1	溝橋						●					2024	I	—	
1153	笹原東橋	倉骨2号線	倉骨下ノ沢613番1地先	1973	32.2	6.0	鋼橋					●						2023	II	沓座モルタル打ち替え 等	
1154	龍神橋	鹿畑品川線	倉骨上山975番地先	1966	3.3	5.4	RC橋						●					2024	I	—	
1155	無名橋	加治屋矢板線	薄葉中薄葉143番地先	1992	9.0	10.0	溝橋						●					2024	I	—	
1156	無名橋	平沢2号線	平沢平沢259番地先	1965	2.7	4.3	RC橋						●					2024	I	—	
1157	無名橋	平沢5号線	平沢平沢105番1地先	1965	2.0	5.5	溝橋						●					2024	I	—	
1158	かさね橋	加治屋矢板線	薄葉中薄葉244番3地先	1992	151.2	9.8	鋼橋					●						2023	II	—	
1159	滝沢橋	滝沢1号線	滝沢立海道542番3地先	1970	3.3	4.2	RC橋						●					2024	I	—	
1160	佐田の山橋	親園10号線	親園吉沢1370番地先	1965	2.5	5.0	RC橋						●					2024	I	—	
1161	無名橋	親園5号線	親園前原726番地先	1965	11.4	4.0	PC橋						●					2024	I	—	
1162	下原橋	花園4号線	花園沼1036番地先	1976	23.2	5.0	鋼橋					●					●	2022	II	—	

×改築(集約化・撤去含む) ○修繕 ●定期点検

I 健全 III 早期措置段階

II 予防保全段階 IV 緊急措置段階

作業 用番 号	施設名	路線名	所在地	架設 年次	橋長 (m)	幅員 (m)	上部工 (使用 材料)	×改築(集約化・撤去含む) ○修繕 ●定期点検									対策 費用 (億円)	点検 年度	設計 年度	橋梁 毎の 判定 区分	講ずる措置の内容
								2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)							
1164	無名橋	ライスライン親園線	親園中居前3 9 0 5 番地先	1965	5.8	9.0	RC橋						●					2024	I	—	
1165	鳴神橋	花園4号線	滝岡青木7 2 4 番1 地先	1976	13.7	5.0	鋼橋						●					2024	I	—	
1166	吉沢橋	親園5号線	親園吉沢前9 0 1 番地先	2018	18.1	13.8	PC橋				●							2023	I	—	
1167	青木橋	滝岡2号線	滝岡青木8 3 7 番2 地先	1975	16.0	4.1	鋼橋					●						2024	I	—	
1168	1 9 0 号橋	親園佐久山線	滝岡青木7 9 5 番4 地先	1975	25.4	4.5	鋼橋				●							2023	II	—	
1170	無名橋	親園5号線	親園街道下1 1 5 0 番地先	1965	7.0	11.7	PC橋					●						2024	I	—	
1171	無名橋	親園7号線	滝岡若目田5 6 4 番地先	1965	7.4	4.0	PC橋					●						2024	I	—	
1172	若目田橋	花園4号線	滝岡和久4 9 3 番地先	1978	17.4	5.0	鋼橋				●							2023	II	—	
1173	山水橋	滝岡3号線	滝岡和久5 1 8 番地先	1977	17.7	5.0	鋼橋				●							2023	II	—	
1174	大沢橋	親園佐久山線	滝岡岡6 7 3 番6 地先	1976	19.0	6.5	鋼橋				●							2023	II	—	
1175	百村中橋	ライスライン親園線	滝岡岡6 8 4 番1 地先	1973	25.0	9.0	鋼橋				●							2023	II	—	
1177	無名橋	実取17号線	実取堀下7 0 1 番2 6 地先	1965	7.5	5.2	溝橋					●						2024	I	—	
1178	無名橋	滝沢1号線	実取池袋1 1 5 3 番地先	1965	4.0	6.0	溝橋						●					2020	I	—	
1179	無名橋	親園1号線	実取札場前9 1 6 番地先	1965	3.5	5.0	溝橋						●					2020	I	—	
1180	無名橋	ライスライン親園線	花園沼7 0 9 番地先	1965	6.3	9.4	PC橋						●					2020	II	—	
1181	無名橋	花園7号線	花園小種島2 8 2 番1 地先	1965	7.8	4.4	RC橋						●					2020	II	—	
1182	三色出橋	花園13号線	花園三色手1 5 1 8 番地先	1965	16.7	4.0	PC橋					●						2024	II	—	
1183	寺山橋	佐久山20号線	佐久山上町1 9 9 1 番地先	1971	2.5	5.1	RC橋						●					2020	II	—	
1184	無名橋	佐久山14号線	佐久山中町2 0 1 0 番4 地先	1963	2.0	2.9	RC橋						●					2020	II	—	
1185	松原橋	親園佐久山線	佐久山松原下3 9 8 4 番1 地先	1975	136.4	5.0	鋼橋				●							2023	I	—	
1186	無名橋	佐久山13号線	佐久山下町2 0 3 0 番3 地先	1963	2.2	3.0	RC橋						●					2020	I	—	
1187	荒町橋	佐久山10号線	佐久山上ノ台2 0 7 4 番地先	1968	4.8	3.3	RC橋						●					2020	I	—	
1188	無名橋	佐久山10号線	佐久山上ノ台2 0 7 7 番1 地先	1963	2.5	4.0	溝橋						●					2020	II	—	
1189	大塚橋	佐久山8号線	佐久山上ノ台2 0 7 8 番地先	1963	3.3	3.8	RC橋						●					2020	II	—	
1191	無名橋	佐久山山の田線	佐久山新町2 1 9 0 番4 地先	1963	2.3	11.0	溝橋						●					2020	II	—	
1192	百村橋	滝岡5号線	滝岡滝ノ沢3 3 0 番地先	1959	24.0	3.6	RC橋	●							●			2021	I	—	
1193	小種島大橋	大田原喜連川線	花園小種島1 9 0 番1 地先	1972	148.5	7.0	鋼橋				●							2023	II	—	
1194	大神中堀橋	大神4号線	大神下ナシ1 4 4 番3 地先	1962	2.6	4.5	RC橋						●					2020	I	—	
1195	無名橋	滝岡5号線	滝岡滝ノ沢3 2 7 番4 地先	1959	2.8	6.3	溝橋						●					2020	I	—	
1196	無名橋	福原1号線	福原竜蔵院下8 9 4 番地先	1994	7.3	4.0	RC橋						●					2020	II	—	
1197	無名橋	福原1号線	福原竜蔵院下9 0 0 番地先	1994	4.0	6.4	RC橋						●					2020	II	—	
1198	無名橋	福原4号線	福原竜蔵院下9 7 8 番地先	1994	4.7	4.1	RC橋						●					2020	II	—	
1199	無名橋	福原4号線	福原竜蔵院下9 9 4 番地先	1994	7.0	5.2	PC橋						●					2020	I	—	
1200	無名橋	藤沢2号線	佐久山高橋3 4 8 3 番1 地先	1965	2.5	6.0	溝橋						●					2020	I	—	
1201	無名橋	藤沢3号橋	藤沢上藤沢1 9 4 番1 地先	1965	2.8	6.5	溝橋						●					2020	II	—	
1202	無名橋	藤沢4号線	藤沢上藤沢2 3 0 番地先	1965	3.3	4.5	溝橋						●					2020	II	—	
1203	無名橋	藤沢5号線	藤沢下藤沢3 5 9 番1 地先	1965	4.5	6.0	溝橋						●					2020	I	—	
1204	無名橋	大神17号線	大神新田5 6 6 番2 地先	1965	4.0	9.5	溝橋						●					2020	II	—	
1205	無名橋	大田原喜連川線	福原五百橋1 9 3 8 番2 5 2 地先	1965	3.8	5.6	溝橋						●					2020	I	—	
1206	無名橋	福原8号線	福原芝山道添1 6 8 4 番3 地先	1965	4.2	3.0	溝橋						●					2020	I	—	
1207	一貫橋	大神15号線	大神新田8 1 1 番地先	1965	4.5	4.1	溝橋						●					2020	I	—	
1208	六本松橋	浅香403号線	浅香5丁目3 7 6 4 番5 3 地先	2000	24.1	6.0	PC橋								●			2022	II	—	
1209	若美橋	浅香502号線	浅香5丁目3 7 6 6 番1 1 地先	2002	23.0	4.0	鋼橋				●							2022	II	—	
1210	並木橋	浅香501号線	浅香5丁目3 7 6 6 番1 2 地先	2002	23.0	4.0	鋼橋				●							2022	II	—	
1211	加治屋東橋	浅香402号線	浅香4丁目3 5 7 8 番7 4 8 地先	2003	22.8	4.0	PC橋				●							2022	I	—	
1212	加治屋橋	末広一区町線	浅香4丁目3 5 7 8 番7 3 1 地先	2004	17.4	9.1	PC橋				●							2022	I	—	
1213	西郷橋	浅香401号線	浅香4丁目3 5 7 8 番7 3 8 地先	2003	22.0	6.0	PC橋				●							2022	I	—	
1214	無名橋	石上線	下石上下石上1 8 2 8 番1 地先	1960	2.3	5.1	溝橋						●					2020	I	—	
1215	無名橋	石上線	下石上下石上1 8 2 8 番1 地先	1960	3.7	4.3	溝橋						●					2020	I	—	
1216	東野橋	旧東野鉄道線	北金丸荒町1 0 4 番地先	2008	32.5	9.6	PC橋				●							2023	I	—	
1217	赤堀橋	浅香202号線	浅香2丁目3 5 4 8 番2 9 地先	2005	13.5	6.1	PC橋						●					2020	I	—	
1218	かしらなし大橋	吉際練貫線	富池大道内2 4 1 5 番地先	2004	21.8	7.0	PC橋				●							2023	I	—	
1219	無名橋	羽田8号線	羽田呑内2 5 6 5 番1 地先	1964	8.8	5.0	PC橋						●					2020	I	—	
1220	雁金橋	中田原15号線	中田原赤渕4 5 3 番1 地先	1983	33.4	4.0	PC橋				●							2023	II	—	
1221	無名橋	親園1号線	親園龍王3 8 5 1 番1 地先	1965	4.1	5.0	溝橋						●					2020	II	—	
1222	富池橋	富池市野沢線	大田原市富池3 1 2 番地先	2015	18.5	6.5	PC橋					●						2024	I	—	
1223	荒井橋	荒井2号線	栃木県大田原市荒井字路代769-2地先	2012	18.7	9.3	PC橋				●							2023	I	—	
1224	熊川橋(側道橋)	ライスライン金田線	戸野内巻川添3 2 番2 地先	2013	29.6	2.5	鋼橋				●							2023	-	—	

×改築 (集約化・撤去含む) ○修繕 ●定期点検

I 健全 III 早期措置段階

II 予防保全段階 IV 緊急措置段階

作業 用番 号	施設名	路線名	所在地	架設 年次	橋長 (m)	幅員 (m)	上部工 (使用 材料)	×改築 (集約化・撤去含む) ○修繕 ●定期点検									対策 費用 (億円)	点検 年度	設計 年度	橋梁 毎の 判定 区分	講ずる措置の内容
								2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)							
2001	上堂川橋	羽田黒羽向町線	黒羽向町1001番1地先	1978	9.6	5.5	PC橋								●			2020	I	—	
2002	無名橋	中田原大輪線	蜂巣1732番地先	1964	3.0	10.4	溝橋								●			2020	II	—	
2003	星宮橋	中野内南方線	大久保川添708地先	2007	15.1	7.3	PC橋				●							2023	I	—	
2004	無名橋 (柳田橋)	須佐木14号線	須佐木274番1地先	2016	6.4	4.0	RC橋				●							2023	—	—	
2005	無名橋	中野内南方線	木佐美661番地先	1988	5.0	7.0	溝橋								●			2020	II	—	
2006	浅ヶ沢橋	中野内南方線	南方592番1地先	1989	9.5	7.6	PC橋								●			2020	II	—	
2007	上小草橋	中野内南方線	南方141番1地先	1986	9.8	7.6	PC橋								●			2020	I	—	
2009	新大黒橋	久野又寺宿線	久野又208番3地先	1985	23.8	5.5	PC橋				●							2023	II	—	
2010	黒羽橋	中田原大輪線	黒羽向町1408番1地先	1975	125.3	7.6	鋼橋				●							2023	I	—	
2011	愛吉橋	北野上10号線	北野上823番地先	1957	4.0	3.1	RC橋								●			2020	I	—	
2012	二渡橋	北野上4号線	北野上214番1地先	1966	20.1	4.0	RC橋	●										2021	I	—	
2014	角見橋	鶴居馬頭線	須賀川938番4地先	1960	7.6	5.0	RC橋								●			2020	I	—	
2015	小元橋	小元馬頭線	須賀川1971番3地先	1999	18.3	7.0	RC橋				●							2023	I	—	
2016	小路谷橋	片田小砂線	片田205番1地先	1982	8.1	5.0	RC橋								●			2020	I	—	
2017	山口橋	片田小砂線	片田1687番2地先	1982	9.5	5.0	RC橋								●			2020	I	—	
2018	金堀橋	旧東野鉄道線	黒羽向町435番3地先	1960	17.1	5.5	RC橋	●								●		2021	I	—	
2019	栄橋	黒羽向町22号線	黒羽向町32番地先	1956	9.6	4.5	RC橋								●			2020	II	—	
2020	市場橋	南金丸桧木沢線	余瀬147番1地先	2005	21.6	10.0	PC橋				●							2023	I	—	
2023	茶立橋	南金丸桧木沢線	桧木沢282番1地先	1964	8.4	5.0	PC橋								●			2020	I	—	
2025	無名橋	南金丸桧木沢線	余瀬1538番地先	1964	10.9	8.2	PC橋								●			2020	II	—	
2026	日渡橋	河原両郷線	河原330番1地先	1977	15.9	5.0	鋼橋				●							2023	II	—	
2027	無名橋	河原線	河原1146番地先	1963	3.0	5.0	RC橋								●			2020	II	—	
2028	無名橋	寺宿河原線	河原330番1地先	1977	5.6	5.1	溝橋								●			2020	II	—	
2029	無名橋	高館中野内線	大輪702番1地先	1978	2.2	4.2	RC橋								●			2020	I	—	
2030	高戸屋橋	北野上7号線	北野上359番地先	1961	12.5	3.6	RC橋								●			2020	II	—	
2031	無名橋	黒羽高校前線	北野上1135番地先	1967	3.8	5.0	RC橋								●			2020	II	—	
2032	塩畑橋	北野上17号線	北野上2469番地先	1963	5.5	3.6	RC橋								●			2020	II	—	
2033	無名橋	須賀川20号線	須賀川3859番1地先	1935	3.2	5.5	RC橋								●			2020	II	—	
2034	無名橋	須賀川20号線	須賀川3934番5地先	1935	2.5	3.0	RC橋								●			2020	I	—	
2035	吉乃内橋	北滝片田線	北滝489番地先	1959	7.1	4.6	RC橋								●			2020	I	—	
2036	無名橋	北滝片田線	片田649番地先	1982	2.6	3.9	RC橋								●			2020	I	—	
2037	無名橋	桧木沢15号線	桧木沢1番2地先	1923	3.3	5.3	RC橋								●			2020	I	—	
2038	無名橋	桧木沢15号線	桧木沢19番4地先	1964	3.3	4.5	RC橋								●			2020	I	—	
2039	裏町橋	大豆田4号線	大豆田451番地先	1956	7.4	2.8	鋼橋								●			2020	II	—	
2040	堂川橋	余瀬上町線	黒羽向町338番1地先	1961	9.0	4.0	RC橋								●			2020	II	断面修復工 等	
2042	無名橋	蜂巣14号線	蜂巣1354番地先	1964	3.6	6.1	溝橋								●			2020	I	—	
2043	無名橋	蜂巣14号線	蜂巣1266番1地先	1964	3.0	3.9	溝橋								●			2020	II	—	
2044	無名橋	中田原大輪線	黒羽向町1551番1地先	1964	9.5	10.4	RC橋								●			2020	I	—	
2045	無名橋	中田原大輪線	蜂巣1395番地先	1964	3.5	8.4	溝橋								●			2020	I	—	
2046	無名橋	余瀬8号線	余瀬699番2地先	1964	4.1	5.0	溝橋								●			2020	I	—	
2047	無名橋	余瀬8号線	余瀬1398番地先	1964	10.8	5.0	PC橋								●			2020	II	—	
2048	上堂川橋	余瀬上町線	余瀬1240番地先	1960	13.9	5.5	PC橋								●			2020	II	—	
2049	稲荷橋	蜂巣2号線	蜂巣618番14地先	1964	3.0	3.0	溝橋								●			2020	I	—	
2050	無名橋	蜂巣5号線	蜂巣1669番地先	1964	3.6	5.1	溝橋								●			2020	I	—	
2051	無名橋	羽田高蔵線	蜂巣1619番地先	1964	9.3	7.0	PC橋								●			2020	I	—	
2052	無名橋	黒羽向町寒井線	桧木沢932番1地先	1964	7.4	6.6	PC橋								●			2020	I	—	
2053	中堂川橋	黒羽向町16号線	黒羽向町270番1地先	1960	9.4	7.6	PC橋								●			2020	I	—	
2054	田中橋	河原両郷線	両郷76番1地先	1977	11.8	5.0	鋼橋								●			2020	II	—	
2055	富貴田橋	両郷1号線	両郷39番地先	1977	14.8	4.0	鋼橋								●			2020	II	—	
2056	上河原橋	河原7号線	河原86番地先	1977	14.9	4.0	鋼橋								●			2020	II	—	
2058	五郎八橋	寺宿1号線	木佐美133番1地先	1979	8.0	4.0	RC橋								●			2020	I	—	
2059	無名橋	寺宿1号線	寺宿40番地先	1979	10.6	4.0	鋼橋								●			2020	II	—	
2060	大川沢橋	南方3号線	南方636番1地先	1979	8.4	4.0	PC橋								●			2020	I	—	
2061	田之目橋	南方3号線	南方665番地先	1979	8.4	4.0	PC橋								●			2020	II	—	
2062	無名橋	南方3号線	南方648番1地先	1979	5.0	4.0	RC橋								●			2020	I	—	
2063	八重俵橋	久野又7号線	久野又148番地先	1972	19.4	3.0	鋼橋				●							2023	I	—	
2064	小桧沢橋	雲岩寺4号線	雲岩寺478番地先	1964	6.4	4.0	RC橋								●			2020	II	—	
2065	無名橋	川上1号線	川上160番2地先	1965	15.1	2.6	鋼橋				●							2023	I	—	

×改築（集約化・撤去含む） ○修繕 ●定期点検

I 健全 III 早期措置段階

II 予防保全段階 IV 緊急措置段階

作業 用番 号	施設名	路線名	所在地	架設 年次	橋長 (m)	幅員 (m)	上部工 (使用 材料)	×改築（集約化・撤去含む） ○修繕 ●定期点検									対策 費用 (億円)	点検 年度	設計 年度	橋梁 毎の 判定 区分	講ずる措置の内容
								2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)							
2066	加良美上橋	雲岩寺3号線	雲岩寺205番地先	1964	25.2	3.6	RC橋											2023	I	—	
2068	無名橋	須佐木7号線	須佐木1450番地先	1960	5.2	3.5	RC橋											2020	II	—	
2069	無名橋	須賀川5号線	須賀川3277番2地先	1973	7.5	4.1	RC橋											2020	I	—	
2071	無名橋	須賀川5号線	須賀川3474番地先	1973	6.5	3.6	RC橋											2020	I	—	
2072	無名橋	須賀川5号線	須賀川3481番地先	1973	6.4	4.0	RC橋											2020	II	—	
2073	向山橋	須賀川1号線	須賀川3396番地先	1976	11.4	4.0	PC橋											2020	I	—	
2074	馬背橋	須賀川1号線	須賀川3396番地先	1978	9.4	4.0	PC橋											2020	II	—	
2075	無名橋	須賀川1号線	須賀川3425番4地先	1978	5.4	4.0	RC橋											2020	II	—	
2076	無名橋	須賀川1号線	須賀川地先	1978	5.4	4.0	RC橋											2020	I	—	
2077	無名橋	須賀川1号線	須賀川地先	1978	5.4	4.0	RC橋											2020	I	—	
2078	坂の上橋	須賀川4号線	須賀川3014番地先	1973	8.0	3.8	RC橋											2020	I	—	
2079	大橋	須賀川7号線	須賀川2616番地先	1987	14.4	3.6	PC橋											2020	I	—	
2080	無名橋	須賀川7号線	須賀川2597番地先	1987	4.0	4.0	RC橋											2020	I	—	
2081	横山橋	須賀川9号線	須賀川2342番1地先	1996	21.6	4.0	RC橋											2023	II	—	
2084	青柴田橋	須賀川18号線	須賀川1280番地先	2006	18.7	5.0	RC橋											2023	I	—	
2086	清水橋	須賀川21号線	須賀川990番地先	1935	13.0	4.6	RC橋			○								2020	I	—	R4年補修工事
2087	柿内田橋	片田9号線	片田88番1地先	1982	8.9	4.0	RC橋											2021	I	—	
2088	無名橋	片田8号線	片田233番1地先	1982	7.3	2.1	RC橋											2021	I	—	
2089	帯石橋	亀久9号線	亀久819番4地先	1982	7.5	3.6	RC橋											2021	I	—	
2090	日向橋	亀久8号線	亀久746番1地先	1982	7.5	4.0	RC橋											2021	I	—	
2091	岩下橋	亀久4号線	亀久1324番2地先	1982	2.6	5.6	溝橋											2021	I	—	
2092	新立沢橋	北滝14号線	片田1462番地先	1998	25.1	7.0	鋼橋											2023	I	—	
2093	無名橋	北滝1号線	北滝1152番1地先	1959	3.4	5.0	RC橋											2021	I	—	
2094	根岸橋	北滝1号線	北滝1543番地先	1959	5.4	4.0	RC橋											2021	II	—	
2095	浜街道橋	堀之内2号線	堀之内54番3地先	1959	28.1	2.7	鋼橋											2023	I	—	
2096	松の木内橋	黒羽高校前線	北野上1190番地先	1967	18.5	4.0	鋼橋											2023	I	—	
2097	無名橋	前田1号線	堀之内247番地先	1959	12.0	2.5	鋼橋											2021	II	—	
2099	恩地橋	北野上13号線	北野上1624番1地先	1959	15.4	3.0	鋼橋											2023	I	—	
2100	櫛崎橋	久野又6号線	久野又390番地先	1985	29.2	3.2	鋼橋											2023	I	—	
2101	青木橋	中野内3号線	中野内648番1地先	1982	20.7	3.0	PC橋											2023	II	—	
2102	京塚橋	北滝11号線	北滝512番2地先	1959	8.4	4.3	RC橋											2021	II	—	
2103	岩下橋	両郷7号線	両郷2488番地先	1991	12.9	4.0	PC橋											2021	II	—	
2104	無名橋	両郷5号線	両郷2346番地先	1991	12.5	4.0	RC橋											2021	I	—	
2105	肘内橋	須賀川15号線	須賀川1590番地先	2004	17.7	5.0	RC橋											2023	I	—	
2106	須藤橋	須賀川14号線	須賀川1854番1地先	2003	17.5	4.0	RC橋											2023	I	—	
2107	仲居橋	須賀川26号線	須賀川734番地先	1978	15.5	3.1	鋼橋											2023	II	—	
2108	波止橋	須賀川31号線	須賀川300番1地先	1998	18.1	4.5	RC橋											2023	I	—	
2109	無名橋	北野上16号線	北野上2860番2地先	1999	8.1	3.6	鋼橋											2021	I	—	
2110	無名橋	北野上16号線	北野上2097番2地先	1999	9.2	3.0	PC橋											2021	II	—	
2111	無名橋	北野上18号線	北野上2575番3地先	1964	4.1	3.6	RC橋											2021	I	—	
2112	高橋	前田2号線	堀之内367番2地先	1959	18.1	2.5	鋼橋											2023	I	—	
2113	海法地橋	北滝6号線	北滝1542番地先	1959	4.0	3.5	RC橋											2021	II	—	
2114	下河原橋	中野内2号線	中野内538番地先	1982	19.6	2.8	鋼橋											2023	I	—	
2115	飯の入橋	須賀川6号線	須賀川3153番1地先	1995	4.6	3.5	RC橋											2021	I	—	
2116	無名橋	桧木沢13号線	桧木沢524番地先	1964	7.4	5.0	PC橋											2021	I	—	
2117	寅助橋	北野上14号線	北野上1785番地先	1959	12.0	3.6	RC橋											2021	II	—	
2118	無名橋	黒羽向町13号線	黒羽向町1760番地先	1960	7.0	7.0	RC橋											2021	II	—	
2119	松葉大橋	堀之内鉢木線	堀之内204番地先	1959	24.2	7.0	PC橋											2023	III	—	
2120	根岸橋	須賀川3号線	須賀川2876番3地先	1980	13.3	2.0	鋼橋											2021	II	—	
2121	無名橋	久野又寺宿線	寺宿762番地先	1963	4.4	3.6	RC橋											2021	II	—	
2122	深堀橋	北野上木佐美線	木佐美228番1地先	1999	11.7	9.0	PC橋											2021	II	—	
2123	那珂川歩道橋	黒羽向町23号線	黒羽向町110番地先	2002	207.0	3.0	鋼橋											2023	II	—	
2124	大戸橋	中野内14号線	中野内1630番2地先	2001	68.5	2.2	鋼橋											2023	II	—	
2125	無名橋	桧木沢11号線	桧木沢1141番1地先	1964	9.4	5.0	PC橋											2021	II	—	
2126	無名橋	北野上木佐美線	北野上2819番1地先	1999	16.5	6.5	鋼橋											2023	I	—	
2127	無名橋	北野上木佐美線	北野上2074番地先	1999	9.4	6.5	溝橋											2021	I	—	
2129	無名橋	桧木沢14号線	桧木沢496番2地先	1964	8.5	4.5	PC橋											2021	I	—	
2130	無名橋	乙連沢5号線	蜂巣1046番地先	1964	3.4	5.4	溝橋											2021	II	—	

×改築 (集約化・撤去含む) ○修繕 ●定期点検

I 健全 III 早期措置段階

II 予防保全段階 IV 緊急措置段階

作業 用番 号	施設名	路線名	所在地	架設 年次	橋長 (m)	幅員 (m)	上部工 (使用 材料)	×改築 (集約化・撤去含む) ○修繕 ●定期点検									対策 費用 (億円)	点検 年度	設計 年度	橋梁 毎の 判定 区分	講ずる措置の内容
								2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)							
2131	無名橋	黒羽向町5号線	黒羽向町1094番地先	1978	9.4	5.0	PC橋	●									2021	I	—		
2132	無名橋	亀久3号線	亀久747番3地先	1982	13.1	4.0	PC橋	●									2021	I	—		
2133	無名橋	亀久3号線	亀久137番3地先	1982	7.9	2.5	RC橋	●									2021	I	—		
2134	江戸の沢橋	須賀川32号線	須賀川226番1地先	1998	6.2	2.2	PC橋	●									2021	I	—		
2135	無名橋	寒井10号線	寒井1985番2地先	1964	2.7	4.7	RC橋	●									2021	II	—		
2136	松の口橋	両郷8号線	両郷2502番地先	1992	10.6	4.0	PC橋	●									2021	II	—		
2137	無名橋	両郷磯上線	両郷794番1地先	1991	7.5	5.0	RC橋	●									2021	I	—		
2139	石橋	川上1号線	川上355番地先	1964	2.4	3.9	溝橋	●									2021	II	—		
2140	新石橋	中野内南方線	木佐美地先	1961	11.4	12.6	溝橋	●									2021	I	—		
2141	高岩大橋	西崖線	本州	2009	206.5	9.8	鋼橋			●							2023	II	—		
3001	1号橋	湯津上浄法寺線	蛭畑萱場2328番1地先	1980	5.3	6.0	PC橋	●									2021	II	橋面防水工 等		
3003	1号橋	蛭田9号線	蛭田台ノ下1974番56地先	1972	3.2	5.1	溝橋	●									2021	I	—		
3004	1号橋	蛭田26号線	蛭田堀ノ内445番1地先	1994	2.5	4.0	RC橋	●									2021	II	—		
3005	1号橋	佐良土15号線	佐良土下河原130番地先	1977	3.4	4.0	RC橋	●									2021	I	—		
3006	ひまわり橋	佐良土27号線	佐良土町尻河原4301番地先	1998	13.2	11.2	PC橋	●									2021	I	—		
3007	無名橋	佐良土30号線	佐良土大通地4397番地先	1998	2.9	5.5	溝橋	●									2021	I	—		
3008	無名橋	佐良土27号線	佐良土二升河原2551番1地先	1998	2.9	6.2	溝橋	●									2021	I	—		
3009	無名橋	佐良土27号線	佐良土野島2612番地先	1998	2.9	7.0	溝橋	●									2021	I	—		
3010	1号橋	佐良土19号線	湯津上下大野5番557地先	1965	5.2	4.5	溝橋	●									2021	I	—		
3011	無名橋	上侍塚湯の輪線	湯津上地先	1982	2.5	4.6	溝橋	●									2021	I	—		
3012	永昌橋	北滝小船渡線	北滝1013番2地先	2002	161.1	3.0	鋼橋			●							2023	II	—		
3013	1号橋	小船渡本郷234番地先	小船渡本郷234番地先	2002	3.2	6.2	RC橋	●									2021	II	—		
3014	1号橋	大豆田品川線	狭原山野1223番33地先	1990	3.5	3.7	溝橋	●									2021	I	—		
3015	無名橋	湯津上40号線	湯津上下大野5番312地先	1965	4.0	6.8	溝橋	●									2021	I	—		
3016	無名橋	湯津上中学校西の原線	佐良土山下3832番1地先	1965	3.1	9.5	溝橋	●									2021	II	—		
3019	富大川橋 (下流側)	倉骨新宿線	新宿戸合630番1地先	2010	3.0	5.8	溝橋	●									2021	I	—		
3020	汗子橋	小種島新宿線	片府田汗子923番2地先	1999	110.0	2.4	鋼橋			●							2023	II	—		
3021	1号橋	中の原佐良土線	湯津上下大野34113番1地先	1965	3.0	12.7	溝橋	●									2021	II	—		
3022	岩舟橋	湯津上21号線	湯津上石塔坂1066番4地先	1987	8.0	5.0	PC橋	●									2021	II	—		
3023	湍川3号橋	湯津上21号線	湯津上下ノ谷地1594番3地先	1975	12.6	4.0	鋼橋	●									2021	II	—		
3025	1号橋	旧東野鉄道線	佐良土間ノ田878番2地先	1997	3.2	8.8	溝橋	●									2021	I	—		
3026	いわがわ橋	旧東野鉄道線	佐良土銀内1328番2地先	1997	9.4	4.5	PC橋	●									2021	I	—		
3028	中島橋	湯津上中学校浄法寺線	蛭畑西町11番3地先	1972	33.4	4.0	鋼橋			●							2023	I	—		
3029	小坂橋	蛭田5号線	蛭田小坂下1259番1地先	1972	34.0	6.0	鋼橋			●							2023	II	—		
3030	1号橋	小船渡2号線	小船渡上ノ原59番1地先	1975	4.4	6.0	RC橋	●									2021	II	—		
3031	四谷橋	蛭田17号線	蛭田岡部洞1053番1地先	1973	33.5	4.0	鋼橋			●							2023	I	—		
3032	無名橋	湯津上18号線	湯津上宮沢後955番地先	1987	4.3	4.0	RC橋	●									2021	I	—		
3033	1号橋	佐良土13号線	佐良土天沼542番2地先	1977	3.3	5.0	RC橋	●									2021	I	—		
3035	無名橋	宇田川佐良土線	片府田観浄寺824番地先	2010	2.3	9.6	溝橋	●									2021	I	—		
3036	無名橋	佐良土6号線	佐良土天沼3984番地先	1979	2.9	4.4	溝橋	●									2021	I	—		
3037	無名橋	佐良土9号線	佐良土天沼4005番地先	1979	3.3	5.0	RC橋	●									2021	I	—		
3038	無名橋	蛭畑19号線	蛭畑貝坂2312番地先	1980	5.4	4.3	PC橋	●									2021	I	—		
3039	無名橋	佐良土12号線	佐良土下河原4287番2地先	1977	3.3	5.0	RC橋	●									2021	I	—		
3040	竜光橋	佐良土18号線	佐良土銀内3891番地先	1998	9.4	4.5	PC橋	●									2021	II	—		
3041	無名橋	片府田富士古墳線	新宿西の原74番3地先	1994	3.7	4.5	RC橋	●									2021	II	—		
3043	水道橋	狭原3号線	狭原根本740番1地先	1990	7.0	4.5	PC橋	●									2021	I	—		
3044	無名橋	狭原石田線	狭原根本511番1地先	1975	3.5	9.8	溝橋	●									2021	I	—		
3045	無名橋	狭原12号線	狭原西裏412番1地先	1975	4.0	4.7	溝橋	●									2021	I	—		
3046	無名橋	湯津上10号線	湯津上六斗蒔1271番1地先	1975	4.0	5.2	溝橋	●									2021	I	—		
3047	無名橋	狭原7号線	湯津上六斗蒔1292番2地先	2003	3.5	5.0	溝橋	●									2021	I	—		
3048	無名橋	中の原佐良土線	佐良土上の原1245番5地先	1965	3.2	5.0	溝橋	●									2021	II	—		
3049	笹河原橋	蛭田38号線	蛭田笹河原622番1地先	1972	33.3	4.0	鋼橋	○		●							2023	I	R3年補修工事		
3050	1号橋	宇田川佐良土線	佐良土天沼4051番地先	1994	3.3	6.0	RC橋	●									2021	I	—		
3051	無名橋	湯津上4号線	湯津上大河内2512番1地先	1975	2.8	6.5	溝橋	●									2021	I	—		
3052	無名橋	蛭田35号線	蛭田島井戸66番1地先	1994	3.5	4.4	RC橋	●									2021	II	—		
3053	無名橋	中の原佐良土線	湯津上下大野5番383地先	1965	5.1	7.5	溝橋	●									2021	II	—		
3054	無名橋	中の原佐良土線	佐良土上の原1245番5地先	1965	8.4	4.5	溝橋	●									2021	I	—		
3055	無名橋	佐良土27号線	佐良土町尻河原4347番1地先	1998	3.7	11.5	溝橋	●									2021	I	—		

×改築（集約化・撤去含む） ○修繕 ●定期点検

I 健全 III 早期措置段階

II 予防保全段階 IV 緊急措置段階

作業 用番 号	施設名	路線名	所在地	架設 年次	橋長 (m)	幅員 (m)	上部工 (使用 材料)	2021 (R3)		2022 (R4)		2023 (R5)		2024 (R6)		2025 (R7)		2026 (R8)		2027 (R9)		対策 費用 (億円)	点検 年度	設計 年度	橋梁 毎の 判定 区分	講ずる措置の内容
								改 築	修 繕	点 検	改 築	修 繕	点 検	改 築	修 繕	点 検	改 築	修 繕	点 検	改 築	修 繕					
3056	巻川中橋	蛭田11号線	蛭田巻川端1015番地先	1988	35.7	4.5	鋼橋																2023		I	—
3057	館橋	佐良士32号線	佐良士城内4374番地先	2002	10.9	7.0	PC橋	●															2021		I	—
3058	無名橋	佐良士27号線	佐良士野島3253番地先	1998	2.5	4.2	溝橋	●															2021		II	—
3059	無名橋	佐良士29号線	佐良士大通地4434番地先	1998	2.9	4.0	溝橋	●															2021		II	—
3060	無名橋	湯津上38号線	湯津上下大野2950番地先	1965	4.5	7.6	溝橋			●													2022		II	—
3061	白金橋	佐良士20号線	佐良士2269番3地先	2012	29.9	4.1	PC橋					●											2023		I	—
3062	岩川BOX	中の原佐良士線	佐良士2272	2013	10.4	15.0	溝橋					●											2023		-	—
3063	高橋	佐良士33号線	佐良士	2000	11.0	33.2	鋼橋									●							2020		II	—
3065	箒橋	佐良士小川線	佐良士	1931	283.9	6.5	鋼橋	●															2021		II	—
3067	寅三橋	湯前坂線	中田原	1935	2.0	7.6	RC橋									●							2020		II	—
9999	トコトコ歩道橋	中央203	中央1丁目3	2013	56.3	3.5	歩道橋						●										2023		I	—

§ 4 長寿命化修繕計画の効果

4-1 コスト縮減額

- ✓ 対象施設 419 橋の長寿命化修繕計画の効果は、事後保全型管理（従来型）を予防保全型管理（予算平準）に変換することで、今後 30 年間における修繕及び架替えに掛かる必要費用を 111 億円縮減可能となる。

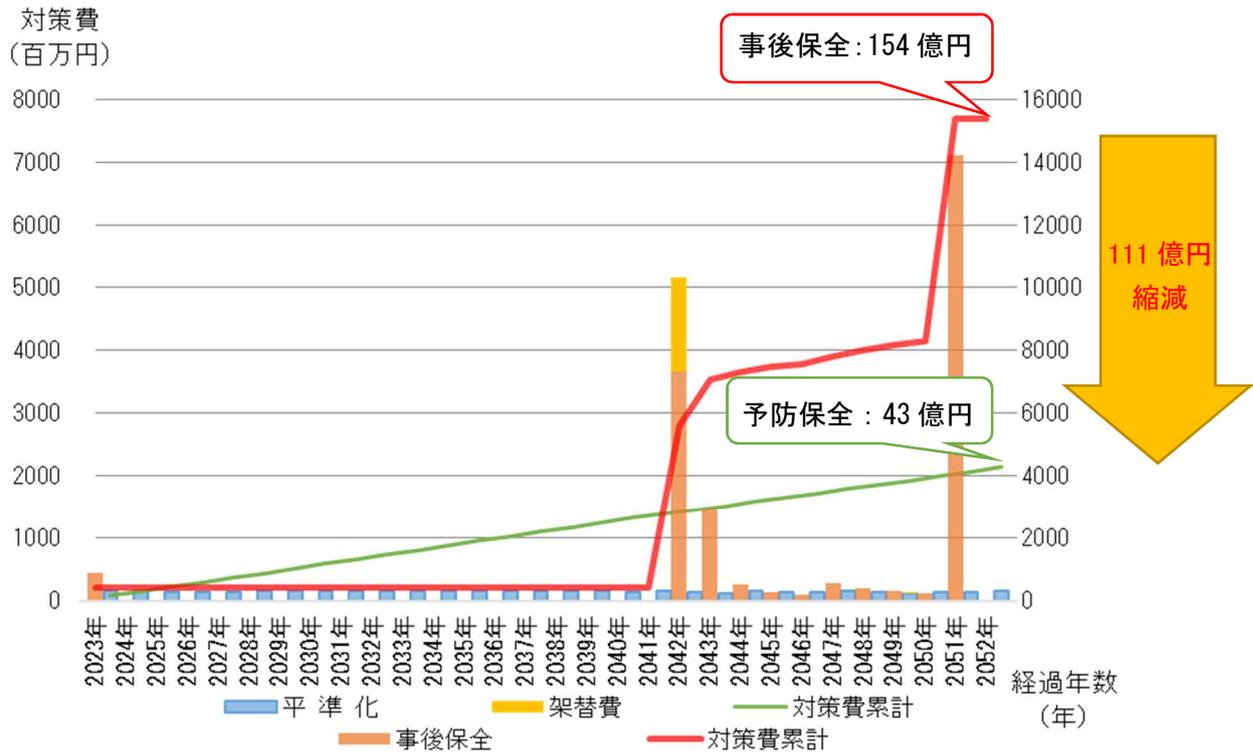


図-4.1.1 長寿命化修繕計画による縮減効果